

平成22年度

年 報



岡山県立図書館

目 次

I	沿革	1
1	県立図書館のあゆみ	
2	歴代館長	
II	平成22年度基本方針及び重点事項	4
1	基本方針	
2	重点事項	
3	平成22年度予算	
4	組織	
5	各班の分掌	
6	職員一覧表	
7	職員数	
8	施設概要	
9	例規の改廃	
III	図書館協議会	12
1	開催状況	
2	委員名簿	
IV	平成22年度図書館運営・サービス概要	13
1	岡山県立図書館第2次中期サービス目標の策定	
2	岡山県立図書館総合システムの構築	
3	駐車場の有料化	
4	利用者サービス	
5	図書館資料の収集	
6	県内外図書館等への支援と連携	
7	ボランティア活動	
8	県民に開かれた図書館運営	
9	資料の利用制限	
V	電子図書館の推進	19
1	メディアセンターとしての図書館	
2	デジタル岡山大百科	
3	メディア工房	
4	コンピュータネットワークの構築	
VI	平成22年度主催事業実績	21
1	夢づくり・県立図書館フェスタ	
2	展示会等	
3	おはなし会等	
4	メディア工房主催イベント	
5	県立図書館とことん活用講座	
6	図書館職員等研修講座	
7	ボランティア講座等	
8	ティーンズコーナーの展示状況	
9	ライブラリーシアター	
10	放送大学・県立図書館連携講座	
11	デジタル岡山大百科関連イベント	
12	その他のイベント等	
VII	平成22年度共催事業実績	29
VIII	平成22年度各種統計・資料	30
1	利用統計	
2	蔵書統計	
3	図書館間協力に関する統計	
4	岡山県立図書館第2次中期サービス目標 県民図書館さんさんサービスプラン	
IX	関係団体	57

I 沿革

1 県立図書館のあゆみ

明治39年 3月24日	岡山県立戦捷記念図書館として岡山市石関町垂公園跡地に設立。
明治41年 3月 4日	岡山県立戦捷記念図書館の開館式実施。
大正12年 3月 1日	岡山県立戦捷記念図書館を岡山市西中山下49番地に新築（本館2階、書庫4層、総坪数565.5坪）し移転する。
大正12年 4月 1日	岡山県立戦捷記念図書館を岡山県立図書館と改称する。
昭和 8年10月 6日	岡山県中央図書館に指定される。
昭和20年 6月29日	戦災で全建物及び蔵書約16万冊を焼失する。
昭和21年10月 1日	岡山県立倉敷図書館開館。
昭和22年11月18日	岡山市石関町天神山に仮館舎を落成し、移転する。
昭和25年 3月23日	岡山県視聴覚ライブラリーを岡山市石関町天神山に落成する。
昭和25年12月 8日	CIE（民間情報教育局）図書館開館。
昭和26年 3月20日	岡山県中央図書館を岡山県立図書館と改称する。岡山県立倉敷図書館を廃止し、県立図書館倉敷分館と改称する。
昭和27年 1月15日	きび1号車（移動図書館車）の巡回を開始する。
昭和28年12月 1日	CIE（民間情報教育局）を日米文化センターと改称する。
昭和32年 7月 9日	岡山県立図書館、視聴覚ライブラリー、日米文化センターをあわせて岡山県総合文化センターと改称する。
昭和36年 4月26日	新館舎建築を起工する。
昭和37年 6月14日	新館落成開館式実施。
昭和37年 6月18日	新館一般公開閲覧開始する。 総務課・整理奉仕課・文化課・日米文化センターの4課を新設する。
昭和40年 5月15日	文化センター友の会設立。
昭和41年 9月 1日	へき地児童巡回文庫巡回を開始する。
昭和43年 3月31日	倉敷分館を廃止する。
昭和46年 2月25日	特許法改正による公開公報類閲覧所に指定される。
昭和47年 9月19日	日米文化センターの名称を国際課と改める。
昭和51年 9月20日	岡山県総合文化センター図書整備基金制定される。
昭和51年12月 1日	身体障害者に対する図書の郵送貸出しを開始する。
昭和52年10月31日	岡山県立図書館創立70周年・岡山県総合文化センター設立20周年記念式実施。
昭和62年 8月 6日	岡山県総合文化センター再編整備検討委員会（岡山県教育長諮問機関）設置される。
昭和62年11月19日	岡山県総合文化センター30周年記念式実施。
昭和62年12月26日	岡山県総合文化センター再編整備検討委員会から県教育長に答申される。
昭和63年 9月 8日	岡山県立図書館基本構想の策定を日本図書館協会へ委託する。
平成元年 5月 9日	岡山県立図書館基本構想（案）が岡山県教育委員会から公表される。
平成 2年 2月 5日	岡山県立図書館・公文書館建設基本計画（案）が岡山県教育委員会・岡山県から公表される。

平成 5年 1月14日	岡山県立図書館・文書館基本設計発表される。
平成 8年 3月 1日	図書館部門にコンピュータシステムを導入する。
平成 8年 5月29日	市町村立図書館とのオンラインネットワーク始まる。
平成 9年10月29日	岡山県総合文化センター40周年記念式実施。
平成 9年12月	岡山県立図書館建設場所と基本計画の見直しを図る。
平成10年 6月 4日	岡山市立丸之内中学校跡地を県立図書館単独の建設候補地と決定する。
平成10年 6月 4日	公開公報閲覧所が廃止される。
平成10年 9月 4日	岡山県立図書館基本構想が岡山県立図書館基本構想策定委員会から県教育長に答申される。
平成11年 4月	岡山県総合文化センター蔵書検索システムをインターネット上に公開する。
平成11年 7月15日	岡山県立図書館基本計画が岡山県教育委員会から公表される。
平成11年11月	分散型総合目録検索システムのギガビットネットワーク実験を開始する。
平成12年 3月17日	移動図書館車（きび号）巡回を廃止する
平成12年 4月 1日	へき地指定校への図書配本事業を開始する。
平成13年 5月17日	分散型総合目録検索システムの運用を開始する。
平成13年12月	文化センター所蔵のデジタル資料（絵図・和装本）をインターネット上に公開する。
平成14年10月4日	新岡山県立図書館の起工式を行う。
平成14年11月15日～17日	全国マルチメディア祭in岡山にて「デジタル岡山大百科」のデモを公開する。
平成15年 4月23日	図書館資料搬送事業を開始する。
平成15年 9月 1日	「インターネット予約貸出サービス」を開始する。
平成15年10月 1日	岡山県図書館間相互貸借システムが稼働する。
平成16年 3月31日	岡山県総合文化センター閉館。
	岡山県立図書館が竣工する。
平成16年 9月25日	岡山県立図書館が開館する。
	「デジタル岡山大百科」が正式稼働する。
平成17年 2月 1日	資料相互返却サービスを開始する。
平成17年 7月 1日	岡山県立図書館メールマガジン配信サービスを開始する。
	携帯電話による蔵書検索・予約サービスを開始する。
平成17年 9月 3日	開館から277日目に来館者が100万人に達する。
平成18年 4月 1日	高等学校への資料搬送事業を開始する。
平成20年 4月22日	高等学校への資料搬送事業を県内全校（県立・私立）に拡大する。
平成21年 1月24日	開館から1,263日目に個人貸出冊数が500万冊に達する。
平成21年 7月19日	開館から1,439日目に来館者が500万人に達する。
平成22年 3月19日	「屋外読書・憩いの空間」が完成する。
平成22年 9月 1日	図書館駐車場が有料化される。
平成23年 2月 4日	第2次中期サービス目標 県民図書館さんさんサービスプランを策定する。
平成23年 3月 1日	図書館業務システムとデジタル岡山大百科システムを統合した、岡山県立図書館総合システムが稼働する。

2 歴代館長

代	氏 名	事 項	職 年 月
1	丸 山 熊 雄	岡山県内務部長兼任	明治41年 5月～大正 2年 6月
2	道 岡 秀 彦	〃	大正 2年 6月～大正 6年 1月
3	田 中 喜 介	〃	大正 6年 1月～大正 9年 3月
4	生 駒 高 常	岡山県学務課長兼任	大正 9年 3月～大正9年8月26日
5	武 藤 正 治	館 長 事 務 取 扱 専 任 館 長	大正9年8月29日～大正10年3月30日 大正10年3月31日～昭和16年8月
6	大 熊 立 治	専 任	昭和16年 9月～昭和23年 3月
7	土 居 只 助	〃	昭和23年 4月～昭和28年 5月
8	三 宅 得 三	〃	昭和28年 7月～昭和32年 3月
9	大 熊 立 治	〃	昭和32年 4月～昭和39年 3月
10	石 村 善 屋	〃	昭和39年 4月～昭和43年 3月
11	竹 内 亥三美	〃	昭和43年 4月～昭和46年 3月
12	大 原 利 貞	〃	昭和46年 4月～昭和47年 3月
13	神 野 力	〃	昭和47年 4月～昭和52年 4月
14	小 野 啓 三	岡山県教育委員会 教 育 長 兼 務	昭和52年 4月～昭和53年 5月
15	佐 藤 章 一	〃	昭和53年 6月～昭和55年 3月
16	竹 野 清	専 任	昭和55年 4月～昭和58年 3月
17	西 田 譲	〃	昭和58年 4月～昭和61年 3月
18	丸 山 哲 朗	〃	昭和61年 4月～平成元年 3月
19	小 寺 晃	〃	平成元年 4月～平成 4年 3月
20	白 神 幸 昌	〃	平成 4年 4月～平成 6年 3月
21	吉 光 一 修	〃	平成 6年 4月～平成 8年 3月
22	山 内 一 則	〃	平成 8年 4月～平成10年 3月
23	井 上 真 澄	〃	平成10年 4月～平成11年 3月
24	広 江 寿 彦	〃	平成11年 4月～平成16年 3月
25	松 井 英 治	〃	平成16年 4月～平成18年 3月
26	渡 辺 真 道	〃	平成18年 4月～平成20年 3月
27	西 山 猛	〃	平成20年 4月～平成23年 3月

Ⅱ 平成22年度基本方針及び重点事項

1 基本方針

高度情報化、国際化の進展や高齢化の進行などにより、近年、県民の学習意欲は急速に高まっており、これらに対応できるような生涯学習社会の実現が求められている。

このような背景のもと、県立図書館は、本県の学習、公共図書館の中核拠点として、また歴史・文化に関するデジタル・アーカイブ機能を持つメディアセンターとして、県民が、気軽に利用できる環境づくりを進め、心豊かな「快適生活県おかやま」の実現を図るとともに、県民文化の向上に寄与することを目的として活力ある図書館活動を推進する。

2 重点事項

(1) 県民に開かれた図書館

県民の参画でつくる、開かれた図書館とし、県民が必要とする資料・情報をすみやかに検索、利用できる機能と蔵書構成、及び豊かな読書や各種文化活動を行うことができる環境を整備する。

(2) 県域の中核となる図書館

県内の公共・大学・学校図書館等をはじめ、国立国会図書館や都道府県立図書館等との連携と協力をもとにネットワークを確立し、その中核となる。

(3) 調査・研究センターとしての図書館

高度情報化や生涯学習社会の進展にともない、県民の要求も多様化・専門化することが予想され、これら知的ニーズに応え得る調査・研究援助機能を備える。

(4) メディアセンターとしての図書館

国内のみならず国際的視野に立った幅広い資料・情報を収集、加工し、さらに岡山情報ハイウェイ時代におけるメディアセンターとして、他の情報関連メディアの積極的な導入も図りながら、県下各界各層への多様な情報の受発信基地となる。

(5) 資料保存センターとしての図書館

県民の知的財産である資料・情報を収集・整理し、保存して後世へ継承するとともに、広域的に有効な活用を図る。

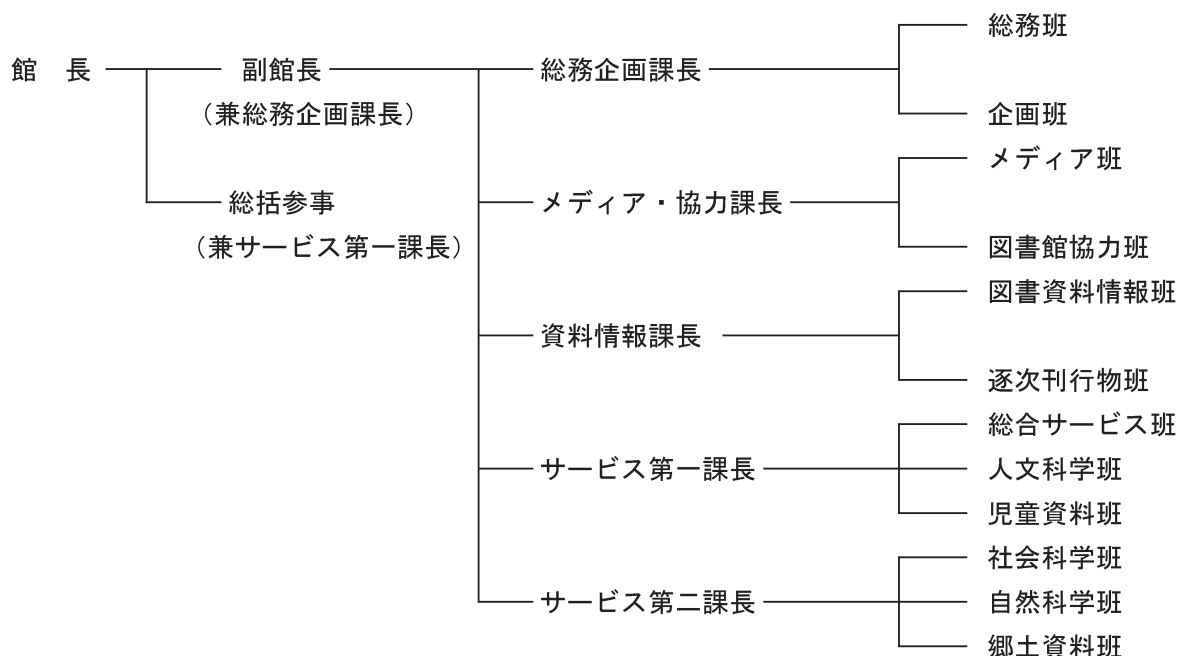
3 平成22年度予算

(1) 当初予算

(単位：千円)

項 目	予 算 額	摘 要
図 書 館 協 議 会	279	委員報酬・旅費等
維 持 運 営 費	244,333	嘱託・アルバイト人件費、運営費
資 料 整 備 費	174,482	図書資料整備費 視聴覚資料整備費 有料デジタル放送活用費 有料データベース活用費等
コ ン ピ ュ ー タ 運 営 費	50,379	蔵書検索システム 図書館業務システム 横断検索システム等
図 書 館 協 力 業 務 費	9,838	図書館職員等研修会事業費 岡山県公立図書館ネットワーク構築事業費 読書普及事業費 相互貸借業務費
図 書 館 サ ー ビ ス 業 務 費	684	多言語資料相談事業費 県立図書館とことん活用講座
夢づくり県立図書館フェスタ	1,000	夢づくり・県立図書館フェスタ
県立図書館ボランティア スキルアップ講座	139	図書館ボランティアの養成
緊急雇用対策事業費	9,988	子ども向けデジタル絵本制作事業
地域活性化・経済危機対策 事業費	146,832	県立図書館業務システム更新
計	637,954	

4 組 織



5 各班の分掌

班	業 務 内 容
総 務 班	庶務、会計、施設管理、各課の連絡調整等
企 画 班	企画行事の計画実施、職員研修、各種調査及び諸統計、コンピュータシステム管理、広報活動、図書館協議会の運営、ボランティア養成等
メ デ ィ ア 班	電子図書館の推進、デジタル岡山大百科の運営、メディア工房の運営、デジタルメディアの編集・加工等
図 書 館 協 力 班	県内図書館ネットワークの推進と連絡調整、県内外図書館等への支援、インターネット予約貸出し、支援用図書の選定・貸出し・返却処理、各種団体の事務局等
図 書 資 料 情 報 班	蔵書計画、収集計画、収集・選定委員会の運営、図書の選定準備作業、購入図書等の選定・注文・受入・データ入力等
逐 次 刊 行 物 班	逐次刊行物・外国語図書・支援用図書・視聴覚資料等の選定・注文・受入・データ入力、寄贈図書の受入・整理等
総 合 サ ー ビ ス 班	参考図書類や総合雑誌等の選定・提供、各主題への案内、利用者登録・貸出し・返却、返却ポストの管理、対面朗読室・新聞コーナーの運営、BDSの管理等
人 文 科 学 班	人文科学や総記の一部、家政学・生活科学関係の図書、雑誌等の選定・提供 外国語資料コーナーの運営等、ティーンズコーナーの運営
児 童 資 料 班	児童資料と児童図書研究資料の選定・提供、児童図書研究室やおはなしのへやの運営
社 会 科 学 班	社会科学に関連する図書、雑誌等の選定・提供、ビジネス支援の中心窓口等
自 然 科 学 班	自然科学、技術、産業、他に総記中の情報科学に関連する図書、雑誌等の選定・提供 交通文化資料コーナー、アクセスコーナー、オーディオ・ビジュアルコーナーの運営
郷 土 資 料 班	岡山県に関連する図書、雑誌等の選定・提供、個人研究室・グループ研究室の運営等

7 職員数

職名	館長	副館長	総括参事	課長	総括副参事	副参事	総括主幹	総括主任	主任	司書〔主任〕	主事	司書	臨時職員	嘱託職員	合計
職員数	1	1	1	5 内兼2	2	0	4	6	6	6	7	7	4	22	70

※その他アルバイト44名

8 施設概要

建物は、「人と環境に優しい図書館」をコンセプトに安全性・わかり易さ・使い易さ・心地よさを追求している。道路からエントランスまでのスロープ、多目的トイレや高さ調節のできる閲覧机などユニバーサルデザインを全面的に採用するとともに太陽光発電、自然換気システムなどクリーンエネルギー、省エネルギーにも配慮している。

また、中間免震建築であり、災害時に防災情報管理センター機能も果たす。

なお、指定管理者について、平成22年度に指定管理者がフォーエス共同体から鹿島建物・オークス・岡山造園グループへと変更された。

さらに、9月からは県立図書館駐車場の有料化に伴い、駐車場警備業務は指定管理業務から外れアマノマネジメントサービスへ移管された。

(1) 建物場所・規模等

建 設 場 所	岡山県岡山市北区丸の内2丁目6-30
土 地 面 積	13,277.06m ²
建 築 面 積	4,327.95m ²
延 床 面 積	18,193m ²
構 造	鉄骨・鉄筋コンクリート造（免震構造）・一部鉄筋コンクリート造（B1）
階 層	地上4階、地下1階
駐 車 場	174台〈地下93台（障害者用4台含む）、地上81台〉
図書収蔵能力	230万冊（閲覧室 30万冊、書庫200万冊）
太 陽 光 発 電	100kw発電規模

(2) 1 階

エ ン ト ラ ンス	備前焼レリーフ（浦上善次氏製作）／樫西手漉き和紙使用照明（久世町）／太陽光発電ディスプレイ、施設案内ディスプレイ／ブックホスト／軽食喫茶コーナー、利用者休憩コーナー、ロッカー、授乳室
閱 覧 室	図書 170,000冊／雑誌 423誌／新聞89紙／席数159席／車椅子席専用閲覧席 4席
参 考 資 料 部 門	図書 10,000冊／雑誌 44誌
新 聞 コ ー ナ ー	紙数86紙／マイクロダーフリンター 1台／CD-ROM端末 2台
人 文 科 学 資 料 部 門	図書 110,000冊／雑誌 285誌
外 国 語 資 料 コ ー ナ ー	図書 20,000冊／雑誌 46誌
児 童 資 料 部 門	図書 30,000冊／雑誌 45誌／新聞3紙 児童図書研究室／おはなしのへや／ねころんぼコーナー／けやきテラス／CD-ROM端末 1台
蔵書検索コーナー	利用者用端末 13台
複 写 コ ー ナ ー	モノ・カラー複写機各1台
対 面 朗 読 室	2室

ブ ラ ウ ジ ン グ	行事案内、観光パンフレット等
-------------	----------------

(3) 2 階

閱 覧 室	図書 130,000冊／雑誌 801誌／席数 209席／車椅子専用閲覧席 4席
社 会 科 学 資 料 部 門	図書 50,000冊／雑誌 160誌
自然科学・産業資料部門	図書 50,000冊／雑誌 169誌
交通文化資料コーナー	図書 5,000冊／雑誌 27誌
ア ク セ ス コ ー ナ ー	端末 28台（インターネット用 26台、指定端末用 2台）
オーディオ・ビジュアルコーナー	映像用ブース19台／音楽用ブース10台／映像資料約8,900点／音楽資料約5,700点
郷 土 資 料 部 門	図書 42,000冊／雑誌 427誌／マイクロタープリンター1台
蔵 書 検 索 コ ー ナ ー	利用者用端末 10台
複 写 コ ー ナ ー	カラー複写機 2台
研 究 室	グループ研究室 2室／個人研究室 2室
ブ ラ ウ ジ ン グ	県広報誌、観光パンフレット等
有 料 貸 出 施 設	
メ デ ィ ア エ 房	編集加工室、撮影室
サ ー ク ル 活 動 室	30人×2室
デジタル情報シアター	82席（固定席） 160インチスクリーン・プロジェクター完備
多 目 的 ホ ー ル	150人（2室としても利用可）150インチスクリーン・プロジェクター完備

(4) 3 階

事 務 室 他	館長室／事務室／会議室／資料整備室／図書館情報室／ボランティア室／コンピュータ室／印刷製本室／救護室／更衣室
---------	--

(5) 4 階

書 庫 （収蔵能力）	書庫（固定） 50万冊（3階） 書庫（集密） 110万冊（4階） 自動化書庫 40万冊（3～4階） 貴重書庫 1万冊（3階）	約200万冊
---------------	---	--------

(6) 地 下

図 書 館 協 力 室	図書30,000冊
-------------	-----------

9 例規の改廃

名称	施行日	改廃理由	主な変更事項
藤田桜氏寄贈作品貸出規程（新）	7/22	藤田桜氏の作品を適正に管理するため	
岡山県立図書館利用規程（改）	7/27	市町村図書館等への支援充実を図るため	従来特別貸出として取り扱っていた①発行後2年以内の児童書で、複本のない正本②一般の資料で禁帯出資料を、館内閲覧を条件とした協力貸出として取り扱う。
岡山県立図書館使用料減免規程（改）	7/27	メディア工房の利用申請手続（減免申請）の簡略化を図るため	現行の申請書に、「メディア工房減免申請欄」を追加し、他の有料施設の利用申請書と共通にした。
岡山県立図書館寄贈資料取扱要領（新）	8/20	寄贈資料の取扱い事務を円滑に行うため	
オーディオ・ビジュアルコーナー運営要領（改）	10/1	音楽CDを館内で試聴する利用者への便宜を図るため	「1時間以内」としていた音楽ブースの利用時間を「90分以内」に改める。
岡山県立図書館利用規程（改）	3/1	用語の整理及び館内用資料の貸出数量・期間、インターネット予約貸出しの返却、協力貸出しの手続、支援用図書の利用等の変更による	①支援用図書は、市町村支援用図書と学校図書館支援用図書の2種に改める。 ②搬送実施施設に一括貸出しを加え、図書館資料に改める。
配本所貸出し実施要領（改）	3/1	支援用図書を対象別に運用すること及び申込書の形式変更等による	支援用図書を市町村支援用図書に改める。
長期一括貸出し実施要領（改）	3/1	支援用図書を対象別に運用することによる	支援用図書を市町村支援用図書に改める。
読書グループ貸出し実施要領（改）	3/1	支援用図書を対象別に運用することによる	支援用図書を市町村支援用図書に改める。
へき地指定校配本貸出し実施要領（改）	3/1	申請者及び貸出冊数の変更による	①申込は、町村教育委員会が届けできるように改める。 ②貸出冊数を1回1,000冊以内に改める。 ③支援用図書を市町村支援用図書に改める。
図書館資料搬送事業実施要領（改）	3/1	実施施設の変更等による	実施施設に、学校等を加える。
インターネット予約貸出し実施要領（改）	3/1	予約資料の確認方法の変更及び様式の変更等による	①インターネット予約受渡館変更届出書に停止を追加。 ②資料の確認は、送付一覧を作成し、専用袋数を確認することに改める。
岡山県立図書館高等学校等図書館資料搬送事業実施要領（廃）	3/1	図書館資料搬送事業実施要領の改訂による	

Ⅲ 図書館協議会

1 開催状況

【第1回 平成22年8月19日（木）】

（１）岡山県立図書館協議会の運営について

①報告

・前年度の図書館協議会について

提案書「岡山県立図書館サービスの在り方について」

提案「子ども読書活動推進センターとしての県立図書館の役割と機能について」

・県内市町村の図書館の現状について

②協議

（２）中期サービス目標について

①平成21年度の評価について

②第2次中期サービス目標（案）について

（３）その他

・県立図書館の利用状況等の推移（平成16～21年度）

・県立図書館の予算概要（平成22年度）

【第2回 平成23年2月18日（金）】

（１）岡山県立図書館 第2次中期サービス目標について

（２）県内市町村立図書館の課題に対する県立図書館の支援について

（３）県立図書館の運営状況等について

①新システムの稼働に伴うサービス内容等の変更点について

②平成22年度事業概要について

③平成23年年度予算概要について

2 委員名簿

任期 自 平成22年 8月 1日 至 平成24年 7月31日

（平成23年3月31日現在）

氏 名	役 職 名
磯 野 千 恵	岡山市立御南小学校 教頭
◎ 伊 丹 弥 生	岡山市立大元公民館「子ども文庫」代表
小 島 恵	利用者（家庭教育）
妹 尾 真理子	矢掛町立図書館長
高 橋 戒 隆	文教委員会委員
武 田 浩 一	（株）廣榮堂代表取締役社長
藤 原 衣通子	利用者（青少年）
○ 藤 原 知 明	（株）山陽新聞社論説委員会特別論説委員
森 田 恵 子	フリーアナウンサー
八 束 澄 子	児童文学作家

◎ 会長 ○ 副会長

（敬称略五十音順）

IV 平成22年度図書館運営・サービス概要

※（頁数）は、詳細事項を記載している頁を示す

1 岡山県立図書館第2次中期サービス目標の策定

平成18年3月に策定した「岡山県立図書館の中期サービス目標・県民図書館振興プラン」（計画期間：平成18年度から22年度）の5カ年の成果と課題を分析すると共に、図書館法等の改正の主旨や諸計画の内容を踏まえ「岡山県立図書館中期サービス目標（第2次）県民図書館さんさんサービスプラン」を策定した。

これは、平成23年度から27年度までの5カ年を実施期間として、「岡山県立図書館基本計画」（平成11年7月）に定められた五つの基本的性格と、新たに確認された二つの課題に取り組む重点プログラムの基に、サービス目標と23の指標を定めた（41頁）。

第2次中期サービス目標の概要

（1）5つの基本的性格を実現する取組

①県民に開かれた図書館

資料・情報の提供、県民参加による図書館づくり

②県域の中核となる図書館

県内図書館への支援、図書館ネットワークの拡充・強化

③調査・研究センターとしての図書館

主題別6部門制による調査・研究支援、課題解決支援機能の充実

④メディアセンターとしての図書館

デジタル岡山大百科の充実、メディア利用環境の整備

⑤資料保存センターとしての図書館

資料の収集、資料の保存

（2）二つの重点プログラム

①子ども読書プログラム

子ども読書活動推進センター機能の充実、学校図書館への支援

②図書館振興プログラム

全県域の図書館の振興、図書館職員の力量の向上

2 岡山県立図書館総合システムの構築

システムの機能の問題及びサーバーの老朽化等から開館以来使用していた図書館業務システムを更新した。又、更新に併せて従来個別のシステムとして稼働していたデジタル岡山大百科と統合し県立図書館総合システムを構築した。

これにより、利用者の利便性の向上が図られた。

（1）図書館業務システム

・「業務システム」と「デジタル岡山大百科」を一体的に開発・運用したことから、保守運用が効率的になり、処理速度が向上した。

・データをリアルタイム（即時）処理することにより、資料の予約申込の結果がすぐにわかるようになった。

・貸出期間の延長手続が、インターネットや館内蔵書検索端末での実施が可能となった。

・予約カート機能の導入により、1度に複数の資料を予約できるようになった。

・資料の検索結果一覧画面では、資料の貸出状況がわかるようになった。

・貸出レシートに、資料の状況（次に予約が入っているか、すでに延長したことがあるか）が表示されるようになった。

（2）デジタル岡山大百科

・岡山県図書館横断検索システムにおいて、検索結果表示に要する時間の短縮化を図るとともに、検索結果からの「絞り込み検索」や「並び替え」機能を設けた。

・郷土情報ネットワークにおいて、動画や高精細画像の試聴の際に利用者のパソコン

ン環境（OSなど）にできるだけ依存しない形式に変更した。

・レファレンスデータベースにおいて、利用者からアクセスが多いレファレンスを一覧表示したり、検索画面の検索条件を保存できる機能を新設した。

3 駐車場の有料化

平成22年9月から、県の歳入確保及び公共交通機関の利用促進の観点から、県立図書館駐車場、県庁外来駐車場、県総合グラウンド駐車場が有料化され、県立図書館駐車場は、県庁外来駐車場と一体管理となった。

なお、利用料金については、最初の1時間は無料（認証を受ける必要あり）とし、1時間を超える毎に100円ずつ加算されることとなった。

4 利用者サービス

（1）館内用資料によるサービス

①閲覧

1、2階閲覧室は、利用者の幅広い学習ニーズに応えるため、「参考」、「人文科学」、「児童」、「社会科学」、「自然科学・産業」、「郷土」の主題別6部門制として、約400席の閲覧席を設置する。そのうち193席は、持ち込みパソコンによるインターネット接続が可能な情報コンセントを配備している。

②貸出・返却

貸出点数は、図書・雑誌は10点以内、視聴覚資料は4点以内で、貸出期間は、15日以内である。

遠隔地利用者サービスとして県立図書館で借りた資料を県内83市町村図書館等（県立図書館）に返却できる「資料相互返却サービス」を行っている。※旧岡山市を除く

③予約、リクエスト

利用者の希望する資料が貸出中の場合は、来館の他、電話、文書（FAX、郵便、電子メール）で予約が可能である。また、インターネット予約では、受渡館を県内92の図書館等から選択できる。

④レファレンス

部門毎に設置したレファレンスカウンターにおいて専任スタッフが利用者の質問、調査研究に回答する。レファレンスは、電話、文書（FAX、郵便、電子メール）でも受け付ける。また、レファレンスデータベースにより岡山県内図書館に寄せられたレファレンス事例を一括して検索することができる。

⑤複写サービス

1、2階閲覧室の複写コーナーにコイン式コピー機を設置し、著作権法の範囲内において、複写サービスを提供している。

（2）各部門のサービスの特徴

○県立図書館とことん活用講座

図書館活用の拡大を図るため、各部門が関係機関や団体と連携して講座を行った（23頁）。

①参考資料部門

事典、辞典などの参考図書類、電話帳、地図帳及び総合雑誌等を配架するとともに、総合受付や文書、電話、電子メール等によるレファレンス窓口として、それぞれの主題別部門へ導くガイド的役割を担った。

登録、貸出し・返却業務（ＡＶ資料を除く）を行った。
対面朗読室の運営や郵送貸出しなどによって障害者サービスを行った（35頁）。
従来、各階に配架されていた大活字図書を一カ所に集約し、新たに大活字図書コーナーを設置した。

②人文科学資料部門

総記、哲学・宗教、歴史・地理、芸術、言語、文学及び家政学・生活科学関係の図書、雑誌を配架する。

外国語資料コーナーでは、外国語で書かれた図書や雑誌を配架するとともに、英語・中国語・ハンガル・ドイツ語・フランス語・ロシア語の多言語資料相談員を委嘱し、レファレンスを実施した。

ティーンズコーナーでは、県内高等学校と連携し、各学校における特色ある読書活動発表の場を提供した（26頁）。

③児童資料部門

児童図書、紙芝居、児童図書研究書、雑誌、新聞を配架し、登録、貸出し・返却業務（ＡＶ資料を除く）を行った。特に夏休み期間中は、自由研究等の調べ学習を行う児童・生徒を対象に、調べ学習等のレファレンス支援を行った（29頁）。

図書館フェスタでは、しかけ絵本や大型絵本、布絵本などを集めて展示するとともに、おはなし会を開催した（21頁）。

また、ボランティアとの連携により、読み聞かせ、ストーリーテリングなどのおはなし会や子どもの読書意欲増進につながる、「ヨムヨムおはなしまつり」や「ヨムヨムおはなしカルタ大会」等様々な行事を開催した（22頁）。

児童図書研究室では、児童図書研究書、全点購入した過去2年間分の児童書を児童書の調査・研究のため提供した。

④社会科学資料部門

政治・法律・経済・社会・教育などの図書、雑誌を配架し、課題解決サービスの中心部門として、ビジネス支援、教育活動支援、法律情報の提供を主に関連資料の収集・提供、レファレンス及び二次資料作成を行った。

おかやまインキュベータ協議会と連携して創業（ビジネス支援）相談会を開催した（29頁）。

県内市町村教育委員会、県立高等学校、県総合教育センター等へ月1回教育関係の新着資料紹介及びブックリストを提供した。

放送大学岡山学習センターと協働し連携講座を行った（27頁）。

「図書館海援隊」に参加し、スポーツチームとの連携展示を行った。又、就職活動サポートコーナーを設置し課題解決支援を行った。

男女共同参画月間にあわせて岡山県男女共同参画青少年課と連携して関連図書・パンフレット等の展示を行った。

※「図書館海援隊」とは、貧困・困窮者支援、医療・健康、福祉、法務等に関する資料紹介・提供、相談会の開催など、地域や住民の課題解決を支援するための様々なサービスを、ハローワークや法テラス等の関係部局と連携しながら実施するもので、有志の公立図書館により結成される。

⑤自然科学・産業資料部門

自然科学・医学・工学・産業などの図書、雑誌を配架し、重点収集資料である交通文化資料コーナーを運営した。

オーディオ・ビジュアルコーナー、アクセスコーナーを運営した。

ボランティアによる情報検索支援サービスや、県民を対象としたインターネット講座を行った。

毎月1回当館所蔵資料を上映する「ライブラリーシアター」を開催した（27頁）。

放送大学岡山学習センターと協働し連携講座を開催した（27頁）。

○有料データベースの提供（10種類）

「聞蔵（きくぞう）Ⅱ」（朝日新聞）、「日経テレコン21」（日本経済新聞）、「Sandex」（山陽新聞）、「FINE総合データベース」（岡山日日新聞）、「NICHIGAI/WEBサービスMAGAZINEPLUS」、「TKCローライブラリー」（判例・法令検索サイト）、「最高裁判所判例解説 DVD」、「判例タイムズ DVD」、「ルール電子図書館」（農山漁村文化協会）「JapanKnowledge」（ネットアドバンス）。その他、「官報」情報検索サービスを業務用として導入している。

⑥郷土資料部門

岡山県に関わる図書、雑誌、新聞、地図、パンフレットや県内在住者による著作物等を配架し、個人研究室やグループ研究室を運営した。

図書館フェスタでは、児島の繊維産業をテーマに、(株)ビッグジョン、リョウザンミシン(株)等の企業や中国デザイン専門学校や倉敷市立短期大学の教育機関と連携して、資料等の展示を行い、当館が収集・保存・提供する様々な郷土情報を紹介することにより、利用の拡大を図った（21頁）。

（3）有料貸出施設

多目的ホール、デジタル情報シアター、サークル活動室、メディア工房を提供し、企業、NPO団体、学校、サークル団体などから幅広い利用があった。

施設名	利用率	利用実績の特徴
多目的ホール	82.2%	プロジェクターを完備しており、約150人を収容（机使用120人）できるため、講演会やセミナー等に利用された。また、図書館主催事業も数多く実施した。
デジタル情報シアター	73.1%	160インチスクリーンを生かし、映画上映会や研修会に利用された。
サークル活動室（2室）	90.9%	趣味の会や打ち合わせなど様々な用途で利用された。
メディア工房	編集加工室 82.9% 撮影室 42.0%	一般利用の他、ビデオ編集やホームページなど図書館主催事業を数多く実施した。専任スタッフによる操作方法等の支援が好評であった。

* 利用率には、県立図書館主催事業等を含む。（利用した日数／開館日数）

5 図書館資料の収集

（1）基本方針

「岡山県立図書館資料収集方針」、「岡山県立図書館館内用資料収集基準」及び「岡山県立図書館支援用図書収集基準」により資料収集を行った。

（2）収集方法

①資料の収集は、購入、寄贈等の方法によった。特に、予約限定版・私家版等入手困難な資料についても十分留意して収集した。

②原本が入手不可能な資料については、複製による収集を行った。

(3) 資料収集委員会・選定委員会

岡山県立図書館資料収集委員会設置要項及び岡山県立図書館資料選定委員会設置要項に基づき、次のとおり実施した。

○資料収集委員会

第1回 平成22年 6月 1日 (火)

第2回 平成22年10月13日 (水)

第3回 平成23年 1月 4日 (火)

第4回 平成23年 3月29日 (火)

○資料選定委員会

毎週原則として木曜日に実施した。

6 県内外図書館等への支援と連携

(1) 館内用資料による支援・連携

館内用資料を県内外図書館に貸出す「協力貸出し」や、個人利用者が館内用資料をインターネットを通じて検索・予約し、最寄りの図書館等（県内92施設）で受け取ることができる「インターネット予約貸出しサービス」を実施した（38頁）。

(2) 支援用図書の一括貸出し

①長期一括貸出し

新設間もない図書館や小規模図書館へ最大2,000冊、最長1年間貸出す（39頁）。

②配本所貸出し

公立図書館未設置町村へ最大1,000冊、最長1年間貸出す（40頁）。

③へき地指定校配本貸出し

岡山県指定のへき地学校のうち、公立図書館未設置町村にある小・中学校へ最大500冊、年2回貸出す（40頁）。

④読書グループ貸出し

市町村を拠点に活動する文庫や読書愛好会等へ最大100冊、最長2ヶ月間貸出す（40頁）。

(3) 図書館資料搬送事業による支援

県立図書館と県内公共図書館等の間で、図書館資料の受領及び返却のため、資料搬送を行った。

また、県内全ての県立学校及び私立小・中・高等学校に対し、資料搬送を行った。

(4) 岡山県図書館横断検索システム・岡山県図書館間相互貸借システムによる支援

県立図書館、県内市町村立図書館、大学図書館等をネットワークで結び、利用者が求める資料を、24時間、365日、県内公立図書館等の蔵書約958万冊から横断的に一括検索することができる。また、県内公立図書館等間で相互貸借依頼ができる岡山県図書館間相互貸借システムを運用し、相互貸借を行った。

(5) 巡回協力事業（市町村訪問）による連携

全市町村の図書館・図書室・教育委員会等を訪問（訪問内訳：公共図書館38館、教育委員会5委員会、学校2校）し、その地域の図書館業務の現状と課題を把握し、支援・助言を行うとともに、市町村の県立図書館への要望をサービスに反映した。また、県内各市町村の情報交換の取りまとめ、情報の共有を図った。

7 ボランティア活動

図書館利用者一人ひとりのニーズに沿ったきめ細かな図書館サービスを行っていく上で、ボランティアの活動は非常に重要であるため、児童サービス、障害者サービス、情報サービス、メディア工房の4分野において、県立図書館ボランティアの登録を行い、ボランティアと県立図書館が協働して図書館活動の活性化と振興を図っている。

(1) 活動の状況

分野		登録者数	活動内容
障害者利用支援	対 面 朗 読	26人	視覚障害者に対する対面朗読 延べ利用者数 323人
	点 字	4人	利用案内、図書リストなどの 作成活動日数 毎月1回
児童サービス支援	読み聞かせ・ストーリーテリング	65人	おはなし会や、ヨムヨムおは なしまつりでの読み聞かせ、 ストーリーテリング 延べ利用者数 4,905人
	布 絵 本 製 作	10人	触って遊べる布絵本の製作 活動日数 毎週金曜日
情報サービス支援		12人	アクセスコーナーでの検索支援 延べ利用者数 62人
メディア工房支援		13人	デジタル岡山大百科に登録す るデータの作成支援 活動日数 150日

(2) ボランティア活動に対する支援

① 県立図書館ボランティア養成講座（基礎講座）

新規に登録するボランティアについて、県立図書館ボランティアとして活動するために必要な基礎的知識・技能の習得を図る目的で、養成講座を開催した（25頁）。

② 県立図書館ボランティアスキルアップ講座

県立図書館ボランティアを対象に、活動するために必要な知識・技術の力量を高める目的で、講座を開催した（25頁）。

8 県民に開かれた図書館運営

各職員が利用者からの意向・動向の把握に努めるとともに、マルチメディア目安箱や、館内に設置した「提案箱」に寄せられる利用者の意見・要望が図書館運営に生かせるよう図書館サービスの向上に努めた。

○平成22年度「提案箱」に寄せられた提案件数 363件

○利用者からのリクエスト図書の購入（個人・団体含む） 4,366冊

9 資料の利用制限

「利用制限資料取扱要領」に基づき、利用制限資料検討委員会を開催・検討した。該当資料は、著作権に関する事項で計2件であった。

○利用制限資料検討委員会

平成22年11月30日（火）

V 電子図書館の推進

1 メディアセンターとしての図書館

- (1) 利用者ニーズに対応できる各種メディアの収集、整理、保存を行う。
- (2) 直接来館、非来館のいずれの利用者にも必要な情報を迅速かつ容易な方法で提供する。
- (3) デジタルコンテンツ作成・編集・開発のための機能を持つ。
- (4) 県民に公開された総合情報拠点として、普及啓発・情報発信を行う。
- (5) 県内外関係機関とのネットワークの要としての役割を担う。

2 デジタル岡山大百科

新館開館にあわせて本格稼働した電子図書館システムで、従来の図書館サービスの枠を超え、インターネット上で、映像、静止画、音声、文字情報などを提供するとともに、様々な条件で、検索することを可能にしたサービスである。岡山県図書館横断検索システム、郷土情報ネットワーク、レファレンスデータベースの3つの機能から成り立つ。

(1) 岡山県図書館横断検索システム

県立図書館、市町村立図書館、大学図書館等が、所蔵している資料（約958万冊）を横断的に一括検索（書名、著者名、出版社名等）できるシステムで、図書館間で資料予約ができる相互貸借機能も併せ持つ。

(2) 郷土情報ネットワーク

郷土岡山に関するホームページ、映像、静止画、音声、文字情報等約116,000件を検索対象とし、内容提示するシステムで、家庭や学校で貴重書を閲覧したり、ビデオ視聴をすることが可能である。

登録コンテンツを充実させ、より魅力あるものとするために、一般県民の方からも郷土情報の募集を行っている。

(3) レファレンスデータベース

県内の図書館に寄せられた質問回答事例約3,800件を検索・参照できるシステム。

		H21年度末	H22年度末	増減
横断検索システム	接続市町村数	24市町	24市町	—
	接続大学数	7大学	7大学	—
	対象蔵書冊数	924万冊	958万冊	34万冊
郷土情報ネットワーク登録件数		81,922件	115,525件	33,603件
レファレンスデータベース登録件数		3,585件	3,762件	177件

3 メディア工房

様々なデジタル情報を収集・整理・保存・提供するメディアセンター機能の充実のため、県立図書館のデジタルコンテンツ制作拠点として整備した。

デジタル情報の充実及びメディア工房の利用促進を図ることを目的とした講座等を実施した。

なお、一般県民にも有料貸出施設として提供している。

(1) 撮影室

デジタルビデオカメラなどを使った撮影が可能で、遮音性に優れた録音室を備える。

(2) 編集加工室

ビデオなどの様々なメディアを取り込んで、快適に編集できる高機能パソコンなどを備える。

(3) 研修会・講座

メディア工房の機能のPRやデジタル岡山大百科の郷土情報ネットワークへのコンテンツ登録を目的としたメディア工房を活用したビデオ制作講座やメディア工房体験ツアーなどを行った(23頁)。

4 コンピュータネットワークの構築

(1) 図書館業務システム

①業務用端末 49台

カウンター業務用、情報管理用、協力部門用、資料整理部門用

②利用者用館内検索端末 23台

(2) 岡山情報ハイウェイ(インターネット)への接続システム

①蔵書検索システム

県立図書館蔵書検索機能に併せて、インターネットによる予約受付機能も持つ。

②横断検索・相互貸借システム

県内公立図書館等の検索サーバーを横断的に一括検索し、検索結果を総合目録の形で、一覧表示する。また、相互貸借依頼の処理を行うこともできる。

③郷土情報ネットワーク

郷土岡山に関するホームページ、映像、静止画、音声、文字などのデジタルコンテンツの検索と内容提示する機能を持つ。

④レファレンスデータベースシステム

県内の図書館に寄せられた質問回答事例約3,600件を検索・参照する機能をもつ。

(3) 図書館総合システムの開発

「図書館業務システム」と県立図書館電子図書館システム「デジタル岡山大百科」を統合、一体的に運用するようシステム開発を行い、利用者の利便性を向上させた。

VI 平成22年度主催事業実績

1 夢づくり・県立図書館フェスタ

月日	会場	催事名	参加人数
10／30（土） ～ 11／ 7（日）	サークル活動室	児童書展示 「とびだせ！わくわくえほんランド！」 郷土資料展示 「We Love ジーンズ！」 藤田桜 布貼り絵本原画展	714人
10／30（土） 10／31（日）	おはなしのへや	おはなし会 「図書館フェスタおはなし会」	81人
11／3（水）	多目的ホール	コンサート 「マリンバ&オカリナ ライブラリーコンサート」 大山史子氏（マリンバ奏者） 折井ユミコ氏（オカリナ奏者）	240人
11／ 6（土）	多目的ホール	体験講座 「しかけ絵本を作ろう！」 小野泰子氏（フリーランスエディターライター）	33人
11／ 7（日）	多目的ホール	講演「目からウロコの日本史～歴史ノンフィクションや伝記作品の魅力」 河合敦氏（歴史作家・歴史研究家）	150人
10／16（土） ～ 11／12（金）	ティーンズコーナー	展示 「高校図書委員たちのおっすすめ本」 作製：9／23（木）図書委員会交流会	— 42人
10／22（金） ～ 11／30（火）	2階有料施設棟 廊下	写真展 「本のある風景写真展」	20作品

2 展示会等

月日	会場	催事等	参加人数
11／19（金） ～ 12／ 5（日）	1階閲覧室入口 付近	「岡山で活躍するスポーツチーム」 協力：ファジアーノ岡山、岡山シーガルズ、岡山湯郷Belle	—

月日	会場	催事等	参加人数
10/27(水) ～ 11/3(水)	新庄村公民館	第1回ヨムヨム巡回展示 児童図書研究室の全点購入図書の展示 県立図書館職員によるミニ講座 (講座参加者：9名)	—
3/5(土) ～ 3/15(火)	井原市立美星 図書館	第2回ヨムヨム巡回展示 児童図書研究室の全点購入図書の展示 県立図書館職員によるおはなし会とミニ講座 県立図書館職員によるミニ講座 (講座参加者：延べ27名)	—

3 おはなし会等

月日	会場	催事名	参加人数
4/24(土)	サークル活動室	ヨムヨムおはなしまつり' 10 ～音を楽しむ絵本の時間～ 絵本のミニ講座や絵本の読み聞かせ、わらべうた、手遊びなどを実施	44人
7/18(日) 他3日	おはなしのへや	夏休み小学生のための絵本の会 小学生向けの長いおはなしの絵本の読み聞かせを実施 (定例のおはなし会に含む)	82人
7/28(水) ～ 7/30(金)	おはなしのへや	夏休み小学生のためのストーリーテリングおはなし会 小学生を対象にストーリーテリングを実施	122人
10/30(土) 10/31(日)	おはなしのへや	図書館フェスタおはなし会 (定例のおはなし会に含む) 【再掲】	81人
1/15(土)	多目的ホール	ヨムヨムおはなしカルタ大会 絵本が題材のカルタを使ったカルタ大会の他、読み聞かせや簡単な工作を実施	30人
1/30(日) 2/6(日)	おはなしのへや	ヨムヨムおはなし会～布絵本であそぼう～ (定例のおはなし会に含む)	43人
毎週土・日曜日	おはなしのへや	定例のおはなし会 幼児向けの絵本、少し長いお話の絵本などの読み聞かせや、ストーリーテリング(第2・4日曜日：4才以上)を実施	4,709人

4 メディア工房主催イベント

月日	会場	催事名	参加人数
5/14（金） 他5日	メディア工房	ビデオ制作講座	16人
5/29（土）	多目的ホール	デジタル岡山大百科活用講座	73人
7/21（水） 他5日	メディア工房	デジタル絵本制作講座	6人
1/27（木） 他3日	メディア工房	ホームページ制作講座	10人
毎月第4土曜日	メディア工房	メディア工房体験ツアー	69人

5 県立図書館とことん活用講座

月日	会場	催事名	参加人数
6/12（土）	デジタル情報シアター	「AMDAに見る国際協力」 （社会科学資料部門） 小池彰和氏（AMDAボランティアセンター長）	33人
7/25（日）	メディア工房	「インターネットで調べてみよう」 （自然科学・産業資料部門） 県立図書館情報支援サービスボランティア	12人
9/ 5（日）	デジタル情報シアター	「見上げてみよう星空を」 （自然科学・産業資料部門） 綾仁一哉氏（美星天文台長）	70人
9/11（土）	デジタル情報シアター	「岡山弁再発見」 （郷土資料部門） 青山融氏（岡山弁協会特別顧問）	62人
10/ 2（土）	サークル活動室	「ストーリーテリング～楽しいおはなしの世界」 （児童資料部門） 筒井悦子氏（岡山ストーリーテリング研究会代表）	40人
11/27（土）	サークル活動室	「おかやま街歩きとリトルプレスの楽しみ」 （参考資料部門） 福田忍氏（おかやま街歩きノオト編集）	35人

月日	会場	催事名	参加人数
1/23(日)	デジタル情報シアター	「県立図書館所蔵の名著・名盤でたどる合唱音楽の歴史」 (人文科学資料部門) 高野敦氏(桃太郎少年合唱団講師)	59人

6 図書館職員等研修講座

月日	会場	内容	参加人数
6/25(金)	多目的ホール	児童サービス研修(第1回) 【講演会】「ストーリーテリングってなあに?ー語りの現場からー」 筒井悦子氏(岡山ストーリーテリング研究会代表) 【説明】「2009年話題になった本」 県立図書館職員	91人
9/10(金)	多目的ホール サークル活動室	児童サービス研修(第2回) 【講演会】「新しい読物を知る、楽しむ、考える」 土居安子氏((財)大阪国際児童文学館主任専門員) 【分科会】 絵本、読物、科学読物・調べ学習	64人
11/10(水)	サークル活動室	ビジネス支援サービス研修(第1回) 【講演会】「公共図書館のビジネス支援サービスー創業及び中小企業を支援する図書館ー」 竹内利明氏((国)電気通信大学産学官連携センター特任教授) 【事例発表】 津山市立図書館 菊入典子主査 岡山県立図書館 高橋潤子司書(主任) 【ワークショップ】 「地域の実情に合った新しいビジネス支援サービスを考える」他	27人
11/18(木)	サークル活動室	ビジネス支援サービス研修(第2回) 【講演会】「ビジネスに役立つ情報源とビジネスレファレンスの実務」 余野桃子氏(東京都立中央図書館司書) 【実技】「ビジネスレファレンス演習」 余野桃子氏(東京都立中央図書館司書)	31人

月日	会場	内容	参加人数
1/16（水）	サークル活動室	郷土資料を活用した調べ学習における公共図書館と学校の連携について 【講演会】「本づくりはまちづくりー地域文化を知る・伝えるー」 山川隆之氏（古備人出版 代表取締役） 【講演会】「調べ学習と図書館の支援」 内池英樹氏（玉野市教育委員会学校教育課 主査（指導主事）） 【実践発表】「学校司書による調べ学習へのアプローチ」 間野久美子氏（岡山市立鯉山小学校 学校司書） 【演習】「郷土資料を使った調べ学習への実践（図書館活用術！）」 県立図書館職員	54人

7 ボランティア講座等 ボランティア養成講座

月日	会場	内容	参加人数
11/9（火）	デジタル情報シアター	基礎講座 【障害者利用支援コース】 「公共図書館の役割と機能」 「岡山県立図書館の特徴」	9人

ボランティアスキルアップ講座

月日	会場	内容	参加人数
10/8（金）	サークル活動室	【障害者利用支援コース】 第1回 講義「対面朗読技術のスキルアップ演習1」 講師：松嶋信之氏（フリーアナウンサー）	9人
10/22（金）		第2回 講義「対面朗読技術のスキルアップ演習2」 講師：松嶋信之氏（フリーアナウンサー）	6人
6/11（金）	多目的ホール	【児童サービス支援コース】 第1回 講演「絵本の出来るまで」 講師：米本久美子氏（絵本作家）	31人

月日	会場	内容	参加人数
10/15 (金)	多目的ホール	第2回 演習「絵本の読み比べ①（日本の絵本）」 進行：県立図書館職員	21人
3/11 (金)		第3回 演習「絵本の読み比べ②（外国の絵本）」 進行：県立図書館職員	21人
6/17 (木)	アクセスコーナー	【情報サービス支援コース】 第1回 知識検索サイト「ジャパン・ナレッジ」の使い方について	9人
8/19 (木)		第2回 「最高裁判所判例検索DVD」による判例の検索方法について	5人
10/21 (木)		第3回 「群書類従」による古典の検索方法について	7人
12/16 (木)		第4回 「山陽新聞・読売新聞データベース」の記事の検索方法について 進行：県立図書館職員（全4回）	7人

8 ティーンズコーナーの展示状況

期間	テーマ	参加学校
9/18 (土)	アリスとゆかいなとしょいいんず	県立総社南高等学校
10/15 (金)	みんなで読めば、もっと楽しい♪	高教研学校図書館部会備前支部協議会司書部会
11/13 (土)	竜馬とともに～倉敷古城池高校図書委員会 竜馬に学び竜馬に感じて 生きる～ 部、活動中！	県立倉敷古城池高等学校
12/10 (金)		就実中学校・高等学校
12/11 (土)	東商生が選ぶ10大ニュース 2010	県立岡山東商業高等学校
1/14 (金)	横溝正史作品・杉本一文・文庫カバー・ギャラリー	岡山理科大学附属高等学校
1/15 (土)	岡エスター ～夜空に輝く星座たち～	県立岡山工業高等学校
2/11 (金)	和気高おすすめ本特集 ～心をつかむ～	県立和気閑谷高等学校

期間	テーマ	参加学校
2/12(土) ～	考える高校生	県立倉敷商業高等学校
3/24(木)	我ら新高図書委員会 ～委員会活動の一年～	県立新見高等学校
	邑友タイム	県立邑久高等学校

9 ライブラリーシアター

月日	上映作品	参加人数
4/11(日)	「裸足のギボン」2006年 韓国	68人
5/ 9(日)	「愛しきバイルート」2003年 オランダ	70人
6/11(金)	「ラ・マルセイエーズ」1938年 フランス	35人
7/11(日)	「北極のナヌー」2007年 アメリカ	59人
8/ 8(日)	「ヒロシマナガサキ」2007年 アメリカ	72人
9/12(日)	「ベジャール！」2005年 フランス	74人
10/10(日)	「ユキエ」1997年 日本	43人
11/21(日)	「ボルベール＜帰郷＞」2006年 スペイン	56人
12/12(日)	「サンタクロースのプレゼント」1995年 日本	43人
1/ 9(日)	「黄金の馬車」1952年 フランス・イタリア	54人
2/13(日)	「チャップリンのすべて」2008年 日本	88人
3/13(日)	「ミルコのひかり」2005年 イタリア	36人

10 放送大学・県立図書館連携講座

会場：デジタル情報シアター

月日	内容	参加人数
6/19(土)	「高齢社会と在宅介護」 岡野初枝氏（放送大学岡山学習センター客員教員）	57人

月日	内容	参加人数
7/17(土)	「今、炭素のクラスターに注目が」 齋藤清機氏（放送大学岡山学習センター長）	37人
8/21(土)	「ウナギと回遊」 酒井正樹氏（放送大学岡山学習センター客員教員）	40人
10/16(土)	「自尊感情と学校適応感」 井上祥治氏（放送大学岡山学習センター客員教員）	31人
12/11(土)	「化学と犯罪捜査」 齋藤清機氏（放送大学岡山学習センター長）	82人
2/12(土)	「食物、水に潜む寄生虫感染の脅威Ⅱ」 安治敏樹氏（放送大学岡山学習センター客員教員）	38人
計		285人

11 デジタル岡山大百科関連イベント

月日	会場	内容	参加人数
10/31(日)	多目的ホール	映像コンテスト「第5回デジタル岡山グランプリ」 岡山における映像文化向上、岡山から全国への 情報発信促進及びデジタル岡山大百科のコンテ ンツ充実を目的に企業・団体とパートナーシッ プを組み協働で開催。 【募集期間】3月2日(火)～8月31日(火) 【応募作品】197点 上映会・授賞式 予備審査を経て、ノミネートされた11作品を 上映し、グランプリを決定した。 【グランプリ作品】『豹』（崎村のぞみ氏） 【審査員長】滝田洋二郎 氏（映画監督）	134人
12/4(土)	サークル活動室	子どもナレーター世界発信 朗読チャレンジ講座・ナレーター任命式 県内小学生30人を子どもナレーターに任命した。 【応募者】105人	30作品
3/1(火)		「こどもナレーター」がナレーションを担当し て制作したデジタル絵本をデジタル岡山大百科 のコンテンツとして公開した。	

12 その他のイベント等

月日	会場	内容	参加人数
7/17（土） ～8/31（火）	各カウンター	夏休み調べ学習等へのレファレンス支援	－
7/17（土） ～8/31（火）	おはなしのへや	夏休み「調べ学習の秘密基地」	－
6/19（土） 他3日間	サークル活動室 他	創業（ビジネス支援）相談会@県立図書館	94人
毎月第4土曜 日	図書館内	バックヤードツアー	244人

VII 平成22年度共催事業実績

月日	主催	事業名等
5/29（土）	岡山商工会議所	「創業セミナー（飲食店開業コース） i n 県立図書館」 社会科学資料部門：県立図書館の利用案内（ビジネス支援サービス等）や起業等に関するブックリストの配布、講座内容に関連する図書の展示を行った。
9/5（日） 他5日間	岡山市	「岡山市起業家塾」 社会科学資料部門：県立図書館の利用案内（ビジネス支援サービス等）や起業等に関するブックリストの配布、講座内容に関連する図書の展示を行った。
7/10（土） 他7日間	（財）岡山県産業 振興財団	「プレ・インキュベーションセミナー（創業支援研修）」 社会科学資料部門：県立図書館の利用案内（ビジネス支援サービス等）や起業等に関するブックリストの配布、講座内容に関連する図書の展示を行った。
6/7（月）	岡山県図書館協会	「図書館業務講習会」
9/28（火）	岡山県子ども文庫 連絡会	「岡山県子ども文庫連絡会主催講演会－こどもと一緒に 元気に絵本！！楽しく絵本！！－」 児童資料部門：展示資料を提供した。
11/3（水）	岡山県読書推進運 動協議会・新庄村 教育委員会	「平成22年度一日こども図書館フェスティバル i n しん じょう」 児童資料部門：ヨムヨム巡回展示【再掲】やパパとママ のための初めての読み聞かせ講座を行った。
1/29（土）	岡山県子ども文庫 連絡会	「岡山県子ども文庫連絡会主催講演会－甲斐信枝さん講 演会 小さな生きものたちの不思議なくらし－」
3/3（木）	岡山ストーリーテ リング研究会	「第22回ストーリーテリング交流会－おはなしのたのし み－」
3/5（土）	おかやまインキュ ベータ協議会	「創業&フォローアップセミナー i n 県立図書館」 社会科学資料部門：県立図書館の利用案内（ビジネス支援サービス等）や起業等に関するブックリストの配布、講座内容に関連する図書の展示、相談内容についてのレファレンスを行った。
3/13（日）	特定非営利活動法人 バリアフリー資料リ ソースセンター	「読書サポート入門講座」 参考資料部門：県立図書館障害者サービスを説明した。

Ⅷ 平成22年度各種統計・資料

1 利用統計

(1) 月別利用統計

(H23. 3. 31現在)

①閲覧・貸出等サービス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
開館日数	25	25	25	26	25	25
入館者数	87,280	86,554	83,246	95,821	100,066	86,204
新規登録者数	1,342	1,295	1,132	1,581	1,557	1,302
登録抹消者数	0	0	0	0	0	0
累計登録者数	163,397	164,692	165,824	167,405	168,962	170,264
個人貸出冊数(*1)	111,227	115,073	108,795	120,365	120,443	111,878
レファレンス件数	3,798	3,817	4,002	4,414	4,677	4,081
複写枚数	16,001	17,142	14,419	17,394	16,426	15,912
複写件数	2,663	2,642	2,220	2,782	2,934	2,527
予約冊数	10,519	10,411	10,548	11,172	10,795	10,775
うちインターネット予約	7,212	7,393	7,469	7,628	7,311	7,742
うち他館受取	3,551	3,483	3,562	3,619	3,304	3,655
相互返却冊数(*2)	2,861	3,412	2,833	3,262	2,713	3,628
	57	43	18	36	117	40
	81	67	125	61	39	162

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開館日数	26	25	23	23	12	26	286
入館者数	88,972	81,558	74,510	79,222	48,300	86,871	998,604
新規登録者数	1,179	1,198	778	992	568	1,060	13,984
登録抹消者数	0	0	0	0	0	83	83
累計登録者数	171,443	172,641	173,419	174,411	174,979	175,956	175,956
個人貸出冊数(*1)	117,932	107,952	102,919	111,716	67,631	118,647	1,314,578
レファレンス件数	4,237	4,166	3,877	3,876	2,336	4,152	47,433
複写枚数	15,251	17,235	16,514	15,519	8,243	15,371	185,427
複写件数	2,478	2,584	2,354	2,459	1,343	2,458	29,444
予約冊数	11,109	10,648	10,054	10,905	4,976	12,783	124,695
うちインターネット予約	7,914	7,690	7,199	7,900	3,515	9,257	88,230
うち他館受取	3,807	3,613	3,471	3,721	1,634	4,269	41,689
相互返却冊数(*2)	2,713	2,272	2,238	2,437	1,989	2,440	32,798
	7	37	11	27	6	59	458
	88	111	156	97	49	100	1,136

(*1)「個人貸出冊数」には、他館から借用し、利用者に貸し出した1,862冊を含む。

(*2)「相互返却冊数」の上段は、県立図書館の資料を市町村図書館等へ返却した冊数。

中段は、市町村図書館等の資料を県立図書館へ返却した冊数。

下段は、県立図書館の資料を高校図書館へ返却した冊数。

②電子情報の利用

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
館内設置端末利用	3,627	3,547	3,711	3,940	4,006	3,554
インターネット	3,499	3,432	3,618	3,831	3,878	3,473
指定データベース	77	60	54	50	66	37
新聞情報端末	24	35	28	33	33	28
児童CD-ROM端末	12	2	2	8	20	3
郷土デジタル端末	15	18	9	18	9	13
LANケーブル貸出	63	73	71	103	145	86

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
館内設置端末利用	3,489	3,429	3,131	3,190	1,719	3,833	41,176
インターネット	3,393	3,342	3,044	3,113	1,668	3,752	40,043
指定データベース	43	52	39	31	22	31	562
新聞情報端末	27	19	28	28	15	22	320
児童CD-ROM端末	7	2	4	2	3	3	68
郷土デジタル端末	19	14	16	16	11	25	183
LANケーブル貸出	63	65	79	106	55	79	988

③各室・コーナーの利用状況

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
対面朗読室	23	23	23	25	27	46
おはなしのへや	243	432	402	388	348	349
AVコーナー(映像)	1,493	1,424	1,388	1,504	2,018	1,432
AVコーナー(音楽)	146	157	138	151	170	195
研究室	95	167	167	161	282	206

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
対面朗読室	30	28	21	28	20	29	323
おはなしのへや	662	517	410	255	315	388	4,709
AVコーナー(映像)	1,278	1,113	966	1,028	694	1,207	15,545
AVコーナー(音楽)	177	126	127	106	60	180	1,733
研究室	152	149	165	199	87	163	1,993

④有料貸出し施設の利用実績

(%)

	多目的 ホール	サークル 活動室	デジタル情報 シアター	メディア工房		計
				編集加工室	撮影室	
4月	84.0%	96.0%	84.0%	80.0%	36.0%	76.0%
5月	76.0%	80.0%	76.0%	96.0%	64.0%	78.4%
6月	92.0%	96.0%	92.0%	80.0%	36.0%	79.2%
7月	100.0%	100.0%	100.0%	80.8%	61.5%	88.5%
8月	80.0%	88.0%	84.0%	88.0%	76.0%	83.2%
9月	84.0%	96.0%	96.0%	100.0%	40.0%	83.2%
10月	96.2%	92.3%	76.9%	80.8%	19.2%	73.1%
11月	84.0%	100.0%	72.0%	88.0%	24.0%	73.6%
12月	65.2%	82.6%	39.1%	73.9%	56.5%	63.5%
1月	56.5%	78.3%	39.1%	56.5%	34.8%	53.0%
2月	83.3%	91.7%	41.7%	75.0%	33.3%	65.0%
3月	80.8%	88.5%	53.8%	88.5%	19.2%	66.2%
計	82.2%	90.9%	73.1%	82.9%	42.0%	74.2%

※利用率には、県立図書館主催事業も含む(利用した日数/開館日数)

⑤有料駐車場の利用実績

	精算額（収入額）	出庫 台数	割引認 証台数	1時間以内出庫	
				台数	割合
9月	1,060,300円	21,444	19,973	11,031	51%
10月	1,035,100円	22,489	20,138	12,830	57%
11月	967,700円	20,615	18,032	12,127	59%
12月	829,100円	19,340	16,987	11,586	60%
1月	893,700円	20,235	18,168	11,888	59%
2月	505,800円	11,315	10,177	8,242	73%
3月	955,600円	22,189	20,089	16,588	75%
計	6,247,300円	137,627	123,564	84,292	61%

（２）個人貸出統計

①総計（延べ冊〔点〕数）

計	図書	雑誌	視聴覚資料	障害者用 録音図書	他館借 用資料
1,314,578	1,161,926	67,861	82,808	121	1,862

②図書・雑誌（部門別）

（延べ冊数）

部門	参考	人文科学								
分類	総合	0 総記	1 哲学	2 歴史	59 生活	7 芸術	8 言語	9 文学	F 小説	外国語
図書		10,311	61,639	76,037	96,639	88,689	20,275	94,122	121,327	8,638
		577,677								
雑誌	10,134	685	524	2,342	12,951	11,675	2,207	3,741		2,171
	10,134	36,296								
計	10,134	613,973								

部門	児童					
分類	C 児童	E えほん	A かみ しばい	ぬの えほん	J 外国語	児童図書 研究書
図書	120,887	144,199	9,515	454	3,733	974
	279,762					
雑誌	2,542					11
	2,553					
計	282,315					

部門	社会科学	自然科学・産業					郷土	計
分類	3 社会	007 情報	4 自然	5 技術	6 産業	交通	K 郷土	
図書	131,035	13,410	68,985	42,731	36,340	3,209	8,777	1,161,926
	131,035	164,675					8,777	
雑誌	5,534		2,552	5,595	3,092	2,105		67,861
	5,534	13,344						
計	136,569	178,019					8,777	1,229,787

③図書（分類別）

〈和図書〉

（延べ冊数）

分類	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会	4 自然	5 技術
一般	24,072	61,641	76,432	131,172	68,995	139,938
児童	1,762	1,743	6,691	4,479	14,491	5,124
郷土	214	269	4,267	1,227	277	802
計	26,048	63,653	87,390	136,878	83,763	145,864

分類	6 産業	7 芸術	8 言語	9 文学	その他	計
一般	38,126	88,848	20,282	216,217	0	865,723
児童	2,819	10,191	2,475	71,112	154,168	275,055
郷土	651	765	75	230	0	8,777
計	41,596	99,804	22,832	287,559	154,168	1,149,555

* 児童図書研究書、交通文化資料は「一般」に含む。

* 「その他」は、えほん、かみしばい等

〈外国語図書〉

（延べ冊数）

総記	哲学	宗教	社会	語学	純粋科学	応用化学	芸術	文学
94	201	114	506	2,864	86	601	373	1,904

歴史	伝記・テキスト	小説	ペーパーバック	児童	計
684	331	762	118	3,733	12,371

④視聴覚資料

（延べ点数）

DVD	ビデオ	CD	カセット他	計
49,651	1,787	31,325	45	82,808

⑤障害者用録音図書（延べ点数）

デージー	カセット	計
37	84	121

(3) レファレンスサービス

〈受付別〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
来 館	3,354	3,320	3,487	3,959	4,218	3,448
電 話	359	329	378	327	363	412
文書・FAX	52	67	18	46	40	141
電子メール	33	101	119	82	56	80
計	3,798	3,817	4,002	4,414	4,677	4,081

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
来 館	3,748	3,685	3,336	3,391	2,066	3,589	41,601
電 話	325	376	309	309	222	273	3,982
文書・FAX	49	41	117	45	30	33	679
電子メール	115	64	115	131	18	257	1,171
計	4,237	4,166	3,877	3,876	2,336	4,152	47,433

〈分類別〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用案内	64	5	3	15	33	8
0 総記	114	125	191	171	196	221
1 哲学・宗教	144	129	167	156	178	172
2 歴史・地理	321	342	296	360	378	332
3 社会科学	822	894	912	1,040	1,022	924
4 自然科学	389	496	409	484	595	454
5 技術・工学	343	356	261	322	392	339
6 産業	217	226	296	211	220	207
7 芸術・スポーツ	449	442	509	518	504	445
8 言語	102	73	94	118	147	100
9 文学	610	494	533	696	654	589
他・AV関係等	223	235	331	323	358	290
計	3,798	3,817	4,002	4,414	4,677	4,081

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用案内	6	7	144	158	90	241	774
0 総記	170	205	187	107	83	285	2,055
1 哲学・宗教	179	162	169	107	77	173	1,813
2 歴史・地理	372	337	267	322	169	288	3,784
3 社会科学	1,008	983	930	962	524	900	10,921
4 自然科学	406	363	348	370	225	358	4,897
5 技術・工学	298	303	367	290	225	350	3,846
6 産業	196	204	191	168	99	201	2,436
7 芸術・スポーツ	502	502	397	494	268	468	5,498
8 言語	120	139	142	110	69	115	1,329
9 文学	689	590	538	609	359	606	6,967
他・AV関係等	291	371	197	179	148	167	3,113
計	4,237	4,166	3,877	3,876	2,336	4,152	47,433

(4) 障害者サービス統計

①郵送貸出し登録者数

(実人数)

種 別	視覚障害	聴覚障害	視覚聴覚重複	その他障害	計
身体障害1・2級／重度知的障害(＊)	117	18	1	159	295
身体障害3～6級	20	8	0	－	28
計	137	26	1	159	323

(＊)内臓機能障害3級を含む。

②郵送貸出し点数 (日本郵便の割引制度を利用)

(延べ点数)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
心身障がい者用 ゆうメール	件数	19	8	19	14	19	16
	冊数	45	12	34	21	30	30
特定録音物等郵便物(＊)	件数	14	9	34	36	46	30
	うち他館借用件数	9	8	23	24	23	24
	冊数	20	18	47	78	78	54
	うち他館借用冊数	13	16	33	44	38	40
聴覚障がい者用 ゆうパック	件数	0	0	0	0	0	0
	冊数	0	0	0	0	0	0

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
心身障がい者用 ゆうメール	件数	22	17	17	19	10	22	202
	冊数	34	33	41	34	20	50	384
特定録音物等郵便物(＊)	件数	32	28	31	34	17	24	335
	うち他館借用件数	28	20	23	28	14	20	244
	冊数	51	63	64	66	30	50	619
	うち他館借用冊数	46	44	55	57	28	46	460
聴覚障がい者用 ゆうパック	件数	0	0	0	0	0	0	0
	冊数	0	0	0	0	0	0	0

(＊)視覚障害者用

③対面朗読室利用

(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
対面朗読サービス	21	22	23	22	20	22
録音図書等の利用	1	0	1	2	6	23
録音図書の作成等	1	1	1	1	1	1
計	23	23	25	25	27	46

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
対面朗読サービス	15	27	20	27	14	27	260
録音図書等の利用	14	0	0	0	5	1	53
録音図書の作成等	1	1	1	1	1	1	12
計	30	28	21	28	20	29	325

2 蔵書統計

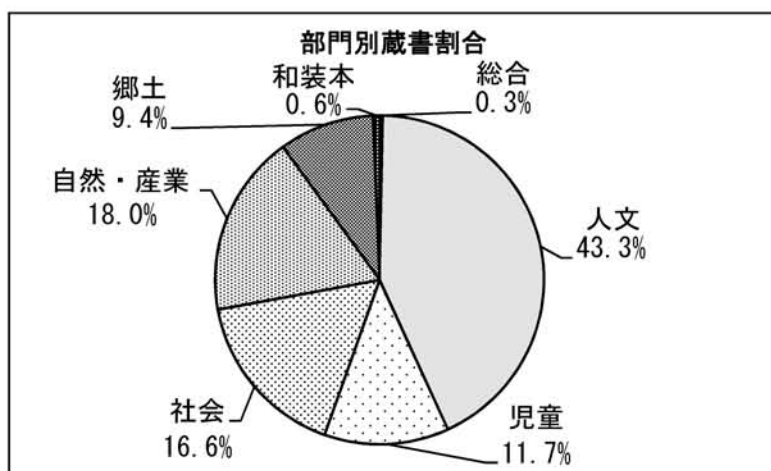
(1) 館内用図書

(H23. 3. 31現在)

部門	参考	人文科学						
分類	総合	0 総記	1 哲学	2 歴史	59 生活	7 芸術	8 言語	9 文学
H21年度末蔵書冊数	2,759	25,950	42,098	74,083	16,409	63,954	13,907	92,466
H22年度増加冊数	購入	89	702	2,694	3,230	1,734	3,829	4,581
	寄贈	3	216	531	1,567	104	1,084	1,196
	その他	1	39	93	80	117	187	156
	計	93	957	3,318	4,877	1,955	5,224	5,933
除籍冊数	0	5	31	37	44	86	24	83
H22年度末蔵書冊数	2,852	26,902	45,385	78,923	18,320	69,092	15,141	98,316
百分率	0.3%	2.7%	4.5%	7.8%	1.8%	6.8%	1.5%	10.2%

部門	人文科学		児童			社会
分類	F 小説	外国語	C 児童	J 外国語	児童図書 研究書	3 社会
H21年度末蔵書冊数	37,581	33,012	109,613	7,187	2,465	160,381
H22年度増加冊数	購入	1,702	1,007	8,284	97	11,299
	寄贈	118	463	810	16	2,446
	その他	407	39	903	4	392
	計	2,227	1,509	9,997	117	14,137
除籍冊数	47	12	98	1	9	72
H22年度末蔵書冊数	39,761	34,509	119,512	7,303	3,047	174,446
百分率	3.9%	3.4%	11.8%	0.7%	0.3%	17.2%

部門	自然・産業					郷土	和装本	合計
分類	007 情報	4 自然	5 技術	6 産業	交通	K 郷土		
H21年度末蔵書冊数	8,204	61,260	50,091	42,429	6,348	87,680	5,375	943,252
H22年度増加冊数	購入	714	3,636	3,111	2,298	289	1,752	52,072
	寄贈	42	702	598	763	32	5,093	16,428
	その他	105	152	155	96	3	135	3,377
	計	861	4,490	3,864	3,157	324	6,980	71,877
除籍冊数	20	54	25	39	1	17	0	705
H22年度末蔵書冊数	9,045	65,696	53,930	45,547	6,671	94,643	5,383	1,014,424
百分率	0.9%	6.5%	5.3%	4.5%	0.7%	9.3%	0.5%	100.0%



(2) 支援用図書

分類	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会	4 自然	5 技術	6 産業
H21年度末蔵書冊数	1,654	3,634	3,867	9,944	5,977	8,458	2,879
H22年度増加冊数	購入	60	125	197	726	478	381
	寄贈	21	18	32	126	79	186
	その他	0	0	0	2	1	0
	計	81	143	229	854	558	567
除籍冊数	193	433	516	1,169	585	760	333
H22年度末蔵書冊数	1,542	3,344	3,580	9,629	5,950	8,265	2,801
百分率	1.9%	4.1%	4.4%	11.7%	7.3%	10.1%	3.4%

分類	7 芸術	8 言語	9 文学	F 小説	C 児童	合計
H21年度末蔵書冊数	6,890	1,372	5,654	9,447	26,502	86,278
H22年度増加冊数	購入	392	123	357	801	1,852
	寄贈	87	13	40	61	83
	その他	0	3	0	0	0
	計	479	139	397	862	1,935
除籍冊数	844	235	818	1,067	3,806	10,759
H22年度末蔵書冊数	6,525	1,276	5,233	9,242	24,631	82,018
百分率	8.0%	1.6%	6.4%	11.3%	30.0%	100.0%

(3) 電子資料・視聴覚資料

分類	電子図書	マイクロ フィルム	映像資料		音楽資料		録音図書		計
			ビデオ	DVD	CD	カセット	デージー	カセット	
H21年度末資料数	828	11,297	2,019	6,176	5,095	136	416	194	26,161
H22年度増加数	購入	13	31	0	548	89	100	50	831
	寄贈	30	0	1	111	104	4	2	252
	その他	8	0	0	8	3	0	19	38
	計	51	31	1	667	196	104	71	1,121
除籍数	0	0	5	8	16	2	0	0	31
H22年度末資料数	879	11,328	2,015	6,835	5,275	238	487	194	27,251

(4) 逐次刊行物

(タイトル数)

分類	新 聞	雑 誌 （購入684）								公報 追録
		和雑誌							洋雑誌	
		総合	人文	児童	社会	自然	交通	郷土		
購 入	88	43	282	32	104	156	9	12	46	19
寄 贈	39	1,333								—
計	127	2,017								19

3 図書館間協力に関する統計

(H23. 3. 31現在)

(1) 協力貸出し利用実績

(延べ冊数)

		県 内				県 外			合 計
		公 共 図書館	大 学 図書館	学校図書館		公 共 図書館	大 学 図書館	国 会 図書館	
				うち搬送					
4月	貸出	2,277	7	630	859	211	1	0	3,355
	借用	98	13	0	0	59	5	3	178
5月	貸出	2,416	15	1,276	1,929	230	1	0	4,591
	借用	67	15	0	0	40	11	6	139
6月	貸出	2,594	21	1,727	1,729	206	0	0	4,550
	借用	72	4	0	0	57	7	2	142
7月	貸出	2,510	20	1,133	1,458	197	7	0	4,192
	借用	100	11	0	0	45	5	4	165
8月	貸出	2,522	15	1,031	1,053	187	8	0	3,785
	借用	83	22	0	0	37	2	0	144
9月	貸出	2,566	33	1,230	1,773	174	1	0	4,547
	借用	65	7	0	0	53	5	4	134
10月	貸出	2,543	17	1,649	2,336	212	7	0	5,115
	借用	76	17	0	0	37	5	6	141
11月	貸出	2,468	24	1,806	1,761	188	1	0	4,442
	借用	52	11	0	0	40	2	8	113
12月	貸出	2,356	31	1,032	1,274	177	7	0	3,845
	借用	65	15	0	0	25	8	7	120
1月	貸出	2,333	13	1,188	1,749	212	1	0	4,308
	借用	14	6	0	0	15	4	5	44
2月	貸出	1,442	2	701	726	82	0	0	2,252
	借用	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	貸出	2,831	7	256	394	277	1	0	3,510
	借用	106	17	0	0	45	1	10	179
計	貸出	28,858	205	13,659	17,041	2,353	35	0	48,492
	借用	798	138	0	0	453	55	55	1,499

* 市町村相互の貸借については、含まない。

* 貸出・・・県立図書館の館内用資料を県内外の図書館へ貸し出した冊数

* 借用・・・県立図書館が県内外の図書館から借用した冊数

* 学校図書館については、来館による貸出あり。

(2) インターネット予約貸出し利用実績

(延べ冊数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
予約処理冊数	7,212	7,393	7,469	7,628	7,311	7,742
うち他館受取冊数	3,551	3,483	3,562	3,619	3,304	3,655

10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
7,914	7,690	7,199	7,900	3,515	9,257	88,230
3,807	3,613	3,471	3,721	1,634	4,269	41,689

(3) 長期一括貸出し利用実績

(延べ冊数)

施設名	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会	4 自然	5 技術	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	エッセイ	小説	児童	計
高梁市立中央図書館	98	172	175	245	241	211	127	201	62	436	306	816	809	3,899
高梁市川上総合学習センター	8	8	7	23	9	50	19	59	4	24	21	107	1,154	1,493
高梁市備中図書室	11	51	35	85	65	75	51	113	8	18	21	80	1,283	1,896
高梁市有漢生涯学習センター	92	150	148	150	92	150	121	140	70	150	90	450	597	2,400
新見市立新見図書館	20	33	34	30	36	40	28	32	28	42	25	196	161	705
神郷生涯学習センター	0	4	1	63	36	165	14	43	7	42	35	92	498	1,000
正田公民館	30	30	50	50	30	60	31	29	25	25	10	80	750	1,200
おおさ総合センター	1	16	1	89	86	156	38	80	0	16	16	32	871	1,402
赤磐市立赤坂図書館	13	20	14	33	23	145	30	67	5	10	10	110	509	989
赤磐市立熊山図書館	14	33	59	71	59	71	46	132	6	48	30	181	150	900
赤磐市立吉井図書館	40	37	43	67	31	144	48	54	24	140	34	505	284	1,451
赤磐市立笹岡公民館	0	0	0	11	0	60	0	85	1	4	2	128	178	469
北房文化センター	37	49	101	112	129	174	46	75	44	178	88	389	518	1,940
美甘保健文化センター図書室	9	21	24	33	36	164	27	23	0	9	7	89	457	899
湯原ふれあいセンター図書室	2	13	10	33	18	61	17	25	21	143	81	776	1,000	2,200
真庭市立二川小学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	700	700
美作市立中央図書館	4	56	17	95	68	352	43	86	7	7	11	154	600	1,500
美作市立英田図書館	0	55	56	97	109	271	63	83	22	36	31	216	461	1,500
美作市立大原図書館	0	1	22	87	12	55	9	12	8	45	49	177	501	978
美作市立作東図書館	7	21	22	118	65	140	47	92	15	114	55	494	305	1,495
美作市立東栗倉図書館	42	87	55	283	157	441	62	163	8	31	14	48	1,009	2,400
美作市立梶並小学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	900	900
勝央図書館	16	49	18	79	85	151	59	121	4	11	1	5	401	1,000
鏡野町泉公民館	29	32	37	103	42	33	24	85	4	58	36	106	611	1,200
鏡野町奥津公民館	0	11	29	16	40	33	30	26	5	1	12	97	300	600
鏡野町羽出公民館	0	1	7	9	11	121	2	76	6	16	48	99	203	599
鏡野町立香々美小学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	1,796	1,800
上斎原文化センター	9	10	8	62	28	83	7	57	1	0	1	0	634	900
鏡野町立富教育歴史資料館図書室	0	2	3	122	137	139	30	81	21	68	14	877	300	1,794
鏡野町立富小学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	750	750
鏡野町立富中学校	0	0	0	0	0	1	0	17	0	2	4	36	40	100
美咲町立中央図書館	5	22	24	44	46	79	27	43	9	21	20	113	354	807
美咲町立旭図書館	26	25	28	46	55	79	21	60	10	19	13	68	449	899
美咲町立柵原図書館	30	31	60	60	100	126	91	85	30	50	45	65	445	1,218
計(8市町34施設)	543	1,040	1,088	2,316	1,846	3,830	1,158	2,245	455	1,768	1,130	6,586	19,978	43,983

(4) へき地指定校配本貸出し利用実績

(延べ冊数)

町村名	学校名	冊数	町村名	学校名	冊数
吉備中央町	御北小学校	500	吉備中央町	円城小学校	500
	津賀小学校	500		加茂川中学校	396
計(1町4校)					1,896

(5) 配本所貸出し利用実績

(延べ冊数)

施設名	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会	4 自然	5 技術	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	エッセイ	小説	児童	計
新庄村公民館	3	44	46	84	83	297	128	112	29	62	12	487	609	1,996
新庄村ふれあいセンター	0	21	17	74	35	48	12	19	5	0	0	67	78	376
西栗倉村こども図書館	33	12	18	312	215	547	120	111	8	20	16	119	462	1,993
加茂川公民館	7	28	27	18	14	71	15	110	0	19	11	186	244	750
吉備高原小学校	20	32	27	39	40	277	22	57	8	241	106	487	1,369	2,725
吉備中央町総合福祉センター	64	100	74	144	139	158	108	195	67	163	107	201	1,052	2,572
吉備中央町立上竹荘公民館	3	6	0	3	6	55	9	40	5	38	4	310	87	566
吉備中央町立下竹荘公民館	1	2	1	12	7	37	11	32	2	4	14	299	552	974
吉備中央町立大和公民館	0	0	0	0	0	7	1	7	3	16	10	137	167	348
吉備中央町立大和中学校	14	47	60	39	57	123	33	160	17	63	7	192	340	1,152
吉備中央町立大和小学校	2	2	2	63	3	40	14	70	3	3	2	26	968	1,198
計(3町村11施設)	147	294	272	788	599	1,660	473	913	147	629	289	2,511	5,928	14,650

(6) 読書グループ貸出し利用実績 (延べ冊数)

町村名	団体名	冊数
吉備中央町	おはなしや	390
計(1町1団体)		390

岡山県立図書館 第2次中期サービス目標

県民図書館さんさんサービスプラン

目次

はじめに

第1章 第2次中期サービス目標の概要

第2章 県立図書館の基本的性格と取組

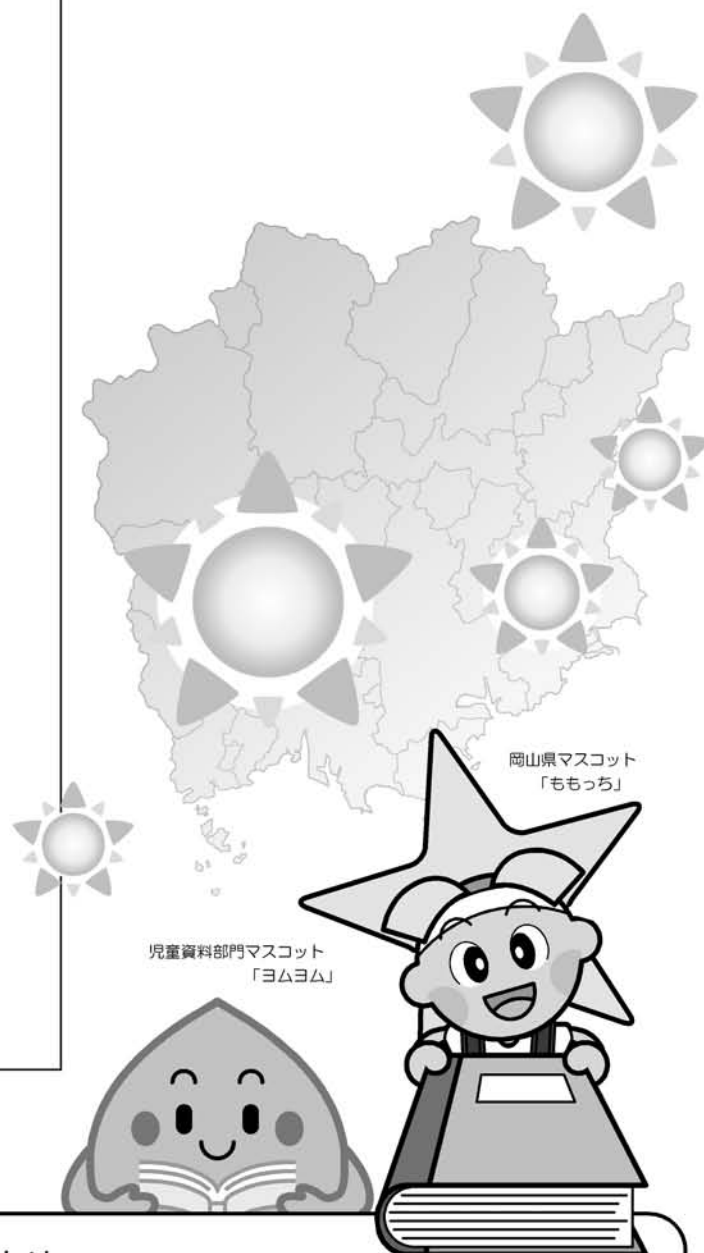
- (1) 県民に開かれた図書館
- (2) 県域の中核となる図書館
- (3) 調査・研究センターとしての図書館
- (4) メディアセンターとしての図書館
- (5) 資料保存センターとしての図書館

第3章 重点プログラム

- (1) 子ども読書プログラム
- (2) 図書館振興プログラム

第4章 第2次中期サービス目標の推進

- (1) サービス指標の設定
- (2) 成果の検証と改訂



【県民図書館さんさんサービスプラン】とは

中期サービス目標（第1次）においては、県立図書館が県内どの地域であれ、また、年齢を問わず、すべての方々に等しくご利用いただける開かれた県民図書館となれるよう、「県民図書館振興プラン」として5か年の目標と具体的方策を定めました。続くこの第2次中期目標では、開かれた県民図書館として、「降り注ぐ太陽の光のように、県内どこに住んでいても、誰でもサービスを受けられる」「明るく楽しい気持ちになる」「エネルギッシュ」「悩みや課題を解決できる」といった目指す姿がイメージできるよう、「晴れの国おかやま」にちなんで「さんさんサービスプラン」と名付けました。

はじめに

新岡山県立図書館が開館して6年半が経過しました。開館以来、入館者や個人貸出冊数が年間100万人、100万冊を超えるなど、全国に誇れる利用状況となっています。平成18年4月には、こうした開館当初の大きな実績を本来の図書館サービスとして定着させられるよう、「中期サービス目標－県民図書館振興プラン－」を策定しました。これは平成22年度までの5か年のサービス目標と行動計画を定めたものです。プランの最終年度までに、ある程度の成果を上げることができましたが、新たな課題などを確認することもできました。

一方で、文部科学省は、地域や住民に役立つ図書館となるために必要となる新たな視点や方策等を「これからの図書館像－地域を支える情報拠点をめざして－」として公表しました。さらに、平成20年6月には、図書館法が改正され、運営に関する評価を行うとともに、運営に関する情報を積極的に提供することが定められました。

また、岡山県・岡山県教育委員会では「岡山県教育振興基本計画」（平成22年2月）、「第3次岡山県生涯学習推進基本計画」（平成22年2月）、「第2次岡山県子ども読書活動推進計画」（平成20年3月）などの関連する諸計画を策定しました。

岡山県立図書館では、5か年の成果と課題を分析するとともに、法改正の主旨や諸計画の内容を踏まえ、「第2次中期サービス目標 県民図書館さんさんサービスプラン」を策定しました。これは平成23年度から27年度までの5か年を実施期間として、5つの基本的性格と2つの重点プログラムの下に、サービス目標と指標を定めたものです。

「晴れの国おかやま」の県立図書館は、市町村立図書館等と連携を取りながら、県内どの地域であれ、また年齢を問わずすべての人々が、まさに降り注ぐ太陽の光のように、等しく図書館サービスを受けられるようその実現に向けて努力してまいります。

平成23年2月

岡山県立図書館長 西山 猛

第1章 第2次中期サービス目標の概要

岡山県立図書館 第2次中期サービス目標

県民図書館さんさんサービスプラン

「すべての県民に降り注ぐような図書館サービスを」

特に5年間で
重点的に
取り組みます！

5つの基本的性格を
実現するための取り組み

2つの重点
プログラム

県民に開かれた図書館

- 資料・情報の提供
 - ・来館者への迅速・確実・親切的な対応
 - ・ユニバーサルデザインの視点に立ったサービス
 - ・非来館型サービスの向上・開館日数増加の検討
- 県民参加による図書館づくり
 - ・利用者ニーズの把握・図書館からの情報発信
 - ・イベント開催・県民の学習成果発表機会の提供
 - ・ボランティアとの協働と研修機会の提供

児童
サービス

学校図書館支援

人的
支援

県域の中核となる図書館

- 県内図書館等への支援
 - ・協力貸出し、協力レファレンスの積極的拡充
 - ・未設置自治体等への長期一括貸出しによる支援
 - ・大学図書館等との連携の拡大
- 図書館ネットワークの拡充・強化
 - ・横断検索システム接続館の拡充
 - ・県内外ネットワークの地域拠点機能

子ども読書プログラム

- 子ども読書活動推進センター機能の充実
 - ・子どもの読書に関する調査・研究支援
 - ・関係者のための研修、普及啓発
 - ・子どもへのサービスの充実
- 学校図書館への支援
 - ・学校図書館支援用図書、支援システムの整備



図書館振興プログラム

- 全県域の図書館の振興
 - ・運営相談体制の強化・全県振興策の検討
- 図書館職員の力量の向上
 - ・職員研修の充実・職員向け情報提供



☆中期サービス目標（第1次）期間中における取組の成果と課題を踏まえ、特に重点的に取り組む必要があるものとして、2点を取り上げ重点プログラムとしました。

調査・研究センターとしての図書館

- 主題別6部門制による調査・研究支援
 - ・レファレンス体制の充実
 - ・交通文化資料の利用の拡大
 - ・地域情報サービスの質的向上
- 課題解決支援機能の充実
 - ・ビジネスの課題解決、社会人の自立支援となる情報提供
 - ・子育てや教育に役立つ資料情報提供
 - ・判例、法令等の情報提供

メディアセンターとしての図書館

- デジタル岡山大百科の充実
 - ・郷土情報ネットワークの充実
 - ・レファレンスデータベースの充実
- メディア利用環境の整備
 - ・メディア工房講座、行事の充実
 - ・アクセスコーナー利用の支援

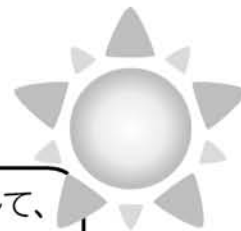
資料保存センターとしての図書館

- 資料の収集
 - ・新刊図書の70%収集
 - ・郷土資料の網羅的収集
- 資料の保存
 - ・市町村立図書館等からの移管資料の受入強化
 - ・長期保存のためのマイクロ化

☆「5つの基本的性格」は、それぞれ独立したものではなく、互に関連し合い、相乗効果により、より充実した図書館サービスが提供できるものです。

○項目ごとにサービス目標と指標を定め、実現に向けて努力します。

第2章 県立図書館の基本的性格と取組



(1) 県民に開かれた図書館

県民の参加でつくる開かれた図書館とします。最も基本的な機能として、すべての県民に対して必要とする資料・情報を提供します。生涯学習推進の拠点施設として、また、魅力ある図書館のモデルとして豊かな読書や学習・文化活動のできる環境を整備し、情報収集と発信に努めます。

○資料・情報の提供

現状の成果と課題

図書館の基本的な機能である資料・情報の提供に関しては、新鮮で豊富な資料の購入に支えられ、開館以降の毎年、入館者100万人、個人貸出冊数100万冊を超える状況であり、予約件数も大きく伸びています。今後ともこの水準を維持するためには、利用者の期待に応えられる魅力ある蔵書をベースに、テーマ資料展示や読書案内・レファレンスサービス※による資料の紹介を行うとともに、館内の環境をより快適にするよう努めることが重要だと考えられます。また、開館日数増加・開館時間延長については、利用者からの要望が絶えず寄せられているところであり、費用対効果も考慮しながら、具体的検討を行う必要があります。

ユニバーサルデザインの視点によるサービスの必要性が、各方面から指摘されていますが、障害のある人や高齢者に対するサービスは、関係機関との連携の強化、役割分担の明確化等を行い、利用の拡大を図ることが課題です。また、蔵書検索システムの中国語、ハングル等への対応や、多言語資料相談員※による外国語資料の利用促進を図ることが必要です。

全県域サービスの視点から、県内どの地域からでも利用できる非来館型サービスであるインターネット予約貸出し※、資料相互返却サービス※等は、サービス改善と周知に取り組むことが求められています。

※レファレンスサービス：利用者が調査・研究等に必要とする資料・情報等を入手できるように図書館職員が支援するサービス。

※多言語資料相談員：英語、中国語、ハングル等の外国語での相談対応を、各言語ごとに月1～2回実施しています。

※インターネット予約貸出し：インターネットから予約した資料を最寄りの市町村立図書館（室）等で受取ることもできます。

※資料相互返却サービス：県立図書館で借りた資料を市町村立図書館（室）等で返却できるサービス。逆も可能です。

サービス目標と具体的取組

①来館者サービスの向上	来館者への迅速、確実、親切な対応と館内案内表示や蔵書検索システム等の環境整備により、利用者が必要な資料・情報を確実に入手できるようサービスを向上します。
②開館日、開館時間の検討	開館日数の増加、開館時間の延長について検討します。
③ユニバーサルデザインの視点に立ったサービス	すべての県民に対してより利用しやすいサービスを提供できるよう、障害のある人や高齢者、外国人へのサービスの充実に努めます。 関係機関との連携の強化、役割分担の明確化等を行い、利用の拡大を図ります。また、蔵書検索システムの中国語、ハングル等への対応や、多言語資料相談員による外国語資料の利用促進を図ります。
④非来館型サービスの向上	直接来館するのが困難な利用者に対しても、非来館型のサービスを充実し、全県域へのサービス提供に努めます。 インターネット予約貸出し等について利便性を向上します。

○県民参加による図書館づくり

現状の成果と課題	
提案箱の設置やホームページでのご意見の受付、来館者アンケートは利用者の直接的な意見を聞き出せる貴重な機会であり、継続して実施することが必要です。更に来館者以外の意見も聴取できるよう取り組むことが課題です。ホームページアクセス数は徐々に増加しており、引き続き魅力ある構成で充実した内容を提供できるよう努めることが課題です。図書館見学等については関係機関に案内送付を行うなど周知を図ります。また、報道機関への発表を積極的に行う等、マスコミを通じた情報提供にも留意が必要です。市町村立図書館等で行う行事、一日こども図書館フェスティバル等では、登録窓口を開設するなどして、県立図書館利用の広報活動を継続して実施することが求められます。 有料施設※については、概ね安定した利用状況ですが、施設の機能を生かした県民の生涯学習活動に活用してもらえよう、広報等を通じた一層の利用拡大が必要であると考えられます。 中心イベントである「夢づくり・県立図書館フェスタ」は読書と図書館への興味関心を呼ぶための事業として一層魅力ある内容となるよう努めるとともに、効果的なPRが課題です。また、他機関等事業への積極的参画を行い相乗効果が出るよう努めることが必要です。 ボランティアについては、「障害者サービス支援ボランティア」など4分野を受入れ、活動の場を提供してきましたが、今後は分野に応じたきめ細かい養成・研修講座を計画的に行うとともに、成果が自館ボランティアだけでなく全県に及ぶような方策の検討が求められます。	

※有料施設：様々な学習活動に活用できる多目的ホール、サークル活動室、デジタル情報シアター等を有料で貸出ししています。

サービス目標と具体的取組	
⑤公聴活動	ホームページや館内提案箱等に寄せられたご意見への迅速・的確な対応を行います。Webによるアンケート、県内公共図書館職員の利用アンケートなど、非来館者や未利用者を含め、県民のニーズを幅広くつかむことができるよう努めます。
⑥広報活動	ホームページは魅力ある構成で充実した内容を提供できるよう努めます。バックヤードツアー※、図書館見学等も継続して実施します。報道機関への発表は積極的に行い、マスコミを通じた情報提供にも留意します。また、市町村立図書館等の行事に併せ、県立図書館の利用広報を行います。
⑦イベントの開催と県民の学習成果発表機会の提供	図書館の魅力を高め、資料・情報の提供につながるイベントや講座を実施します。「夢づくり・県立図書館フェスタ」は一層魅力ある内容となるよう努めるとともに、効果的PRを行います。その他のイベントの企画・実施に際しても、様々な主体と連携するとともに、他機関等事業への積極的参画を行います。おかやま教育週間、読書週間、子ども読書の日といった機会には、県下の図書館等で多くのイベントが行われるよう呼びかけます。 県民の自主的学習活動と成果発表の場の提供を行うため、有料施設の利用広報を行います。内容によっては、県立図書館と共催で実施し、県民と図書館の協働による相乗効果をもたらすものとなるよう努めます。
⑧ボランティアとの協働	学習成果を発揮する場としてのボランティアの受入れと、資質向上に向けた研修を実施します。研修実施に当たっては、受講対象者の拡大等を検討し、効果が広く全県下に及ぶように留意します。地域での図書館・読書ボランティアの養成に関してのアドバイス等の支援を行います。

※バックヤードツアー：普段は入ることのできない書庫など図書館の裏側を職員のガイドで巡る館内見学ツアーを行っています。

(2) 県域の中核となる図書館

県立図書館の最重点業務の一つとして、県内の公共図書館、学校図書館等の一層の支援を図り、大学図書館との連携を拡大します。相互協力の基盤となる県域ネットワークを更に拡充・強化し、国立国会図書館、都道府県立図書館、関連機関等とも連携します。

(注) 学校図書館への支援に関することは「第3章(1)子ども読書プログラム」へ、職員研修、運営相談、人的支援に関することは「第3章(2)図書館振興プログラム」へ、それぞれ記載しています。

○県内図書館等への支援

現状の成果と課題	
県立図書館のサービスを県内全域に広く届けていくためには、県民に身近な市町村立図書館等との連携・協力が不可欠です。市町村立図書館等への協力貸出し※は順調に増加していますが、全県域サービスの視点からも最重要業務の一つであり、今後も重点的に図書館資料の収集整備、相互貸借システム・搬送システム※の充実を図るとともに、市町村立図書館等に利用促進の広報を行い、利用を拡充することが必要です。協力レファレンス※についても、市町村立図書館等のレファレンス業務の支援が十分できるよう対応の強化を図るとともに、利用を呼びかけることが課題です。 市町村立図書館等の資料費減が続く中で、小規模図書館等に対する長期一括貸出しは継続して実施することが求められます。また、図書館未設置町村への配本所貸出し等は一定の利用があり当面は補完業務として継続して実施しますが、町村が図書館を設置し、自主的運営ができるよう、徐々にサービスの方向を変化させることが必要です。 大学図書館との相互貸借は、ここ数年増加傾向にあり、更に資料の充実を図って連携を拡大していくことが必要です。	

※協力貸出し：市町村立図書館等が自館の蔵書で対応できない利用者のリクエストに応えるための資料を貸出します。

※相互貸借システム・搬送システム：県内の図書館等で相互に資料の貸借が行えるように情報と物流をシステム化しています。

※協力レファレンス：市町村立図書館等で解決の困難なレファレンスについて県立図書館で調査します。

サービス目標と具体的取組	
①市町村立図書館等への支援	市町村立図書館等への協力貸出し、協力レファレンス等を積極的に拡充し、それぞれの図書館が利用者サービスを向上できるよう支援します。
②小規模図書館、未設置町村への支援	支援用図書※による長期一括貸出し、配本所貸出し、へき地指定校配本貸出し、読書グループ貸出しを継続して行います。
③県内大学図書館等との連携の拡大	大学図書館や県内の類縁機関等との間で、専門的な資料の相互貸借を行うなど、連携を拡大します。

※支援用図書：市町村立図書館等の団体へ長期大量に貸出すための図書。個人利用者のための館内用図書と別に整備している。

○図書館ネットワークの拡充・強化

現状の成果と課題	
図書館横断検索システム・相互貸借システムは、すべての市町村と一部の大学図書館が参加しています。未接続の地区館※があるため、市町村立図書館数の接続率は約92%ですが、合併市町におけるシステム統合が完了すれば100%となるものと考えられます。今後は大学図書館（現在7館）の接続を推進することが課題となります。搬送システムは県内の図書館運営に不可欠なものとして定着	

※地区館：各自治体において、広域にサービスを行うために、中心となる図書館の他に地域ごとに設置された図書館。

しており、概ね県域のネットワーク化が図られたものと考えられます。搬送量は著しく増加しており、業務の効率化を検討する必要があります。今後は、市町村・大学図書館間相互の貸借も含め、利用の活性化が図られるよう啓発を行うことも求められます。

県外図書館への貸出しは全国でトップクラスの冊数となっており、また、国立国会図書館レファレンス協同データベースへのデータ提供も、毎年トップクラスの件数となっています。このような、県外図書館との協力関係についても継続して維持することが必要です。

サービス目標と具体的取組	
④県内図書館等とのネットワーク	横断検索・相互貸借システムの接続館を拡充します。搬送システムをより有効に活用し、利用の活性化が図られるよう啓発を行います。
⑤県外図書館等とのネットワーク	県外図書館と県内ネットワークの接点として、全国的ネットワークの地域拠点機能を果たします。国立国会図書館の総合目録、レファレンス協同データベースへの参加を継続します。

(3) 調査・研究センターとしての図書館

専門的職員と資料を備える主題別6部門制の特長を最大限に生かし、多様化・専門化していく県民の知的ニーズに応えられる調査・研究援助機能の充実を図ります。また、県民の仕事や暮らし、地域の課題の解決に役立つ資料・情報、学習機会を提供します。

○主題別6部門制による調査・研究支援

現状の成果と課題
レファレンスは、主題別部門制※の特長を生かし、質的向上を図るとともに、データベースへの登録を進めることが求められます。二次資料※については、現在は展示資料リストをホームページに掲載しているものが主体ですが、郷土資料関係、ビジネス支援関係、児童図書関係など、更に内容の充実したものを作成することが必要です。また、総合案内を行う総合カウンターでは、円滑で確実な利用者対応ができるよう、利用者視点で事務改善を進めることが必要です。 重点収集資料である交通文化資料の利用は全体として増加傾向にあります。魅力あるテーマ展示を行ったり、二次資料を工夫したりして、利用の拡大を図る必要があります。収集についても順調ですが、今後は数量的整備とともに、質的深化が課題です。また、郷土資料については、利用の促進を図るため、各種二次資料を作成し県内外に示すことが必要です。

※主題別部門制：図書館閲覧室を主題別の6つのエリアに分けて、資料と調査・相談に応じるカウンターと職員を配置しています。

※二次資料：本や資料の所在を探したり、内容等を調べるために利用できる資料。目録・索引・目次・抄録など。

サービス目標と具体的取組	
①主題別6部門の連携による調査・研究支援	各部門の専門性をより深めながら、関係専門機関との連携を行うなど、利用者が調査・研究の目的を果たすことができるよう支援します。また、円滑で確実な利用者対応ができるよう、利用者視点で事務改善を進めるとともに、6部門の連絡・調整を進めます。
②交通文化資料の利用の拡大	資料の数量的拡大と質的深化、特に歴史的・文化的内容の資料の充実を図ります。展示や二次資料を活用して、利用の拡大を図ります。

③郷土資料の利用の拡大	地域情報サービスの質的向上を図るとともに、岡山県に関する専門的な調査・研究に貢献します。各種二次資料を作成し、県内外に配布し利用の拡大を図ります。利用PRと資料収集も意識し、企画展を継続して実施します。
-------------	---

○課題解決支援機能の充実

現状の成果と課題	
県立図書館6部門の専門性を生かし、公共機関・企業・大学等との連携・協力を推進することが求められます。平成20年度から継続している「県立図書館とことん活用講座」や、関係機関と連携した講座を開催し、利用者の課題解決を支援するとともに、一層の利用拡大を図ることが必要です。 産業振興関係団体、県議会図書室や県庁各部局との連携など、更に各種関係資料リストの作成配布など、ビジネス支援、行政支援、教育活動支援サービス、法情報提供の取組はある程度評価できます。今後は、関連資料の収集・提供、各種二次資料の作成配布、レファレンス機能の充実を図るとともに、関係機関との連携を深めながら事業を推進し、地域や個人の抱える様々な課題解決の支援を強化することが求められます。	

サービス目標と具体的取組	
④ビジネス支援	関連資料の収集・提供を基本に、ビジネス資料に関するブックリスト等の二次資料の作成・提供、関連機関と連携した講座等を開催します。創業・起業を考える人、キャリアアップを目指す人、就職を考える若者など、社会人として自立するための学習を支援します。また、県内中小企業の業務改善を支援します。
⑤子育て・教育活動支援	教育に携わる保護者、教職員、子育て支援関連団体等に対して、子育て・学校教育等に役立つ資料・情報を提供します。県及び市町村の教育・保健福祉・労働部局やその他関連団体等との幅広い連携を図ります。
⑥法情報・行政情報等の提供	判例・法令・官報などの資料・情報提供と検索支援を行います。県内の専門機関と連携し、利用者のニーズに応じたサービスを提供します。併せて、社会状況の変化等も踏まえ、行政情報をはじめとした様々な情報をタイムリーに収集・提供できるよう留意します。

(4) メディアセンターとしての図書館

郷土岡山に関する情報の発信基地を目指し、電子図書館システム「デジタル岡山大百科」の充実と活用を促進します。印刷・アナログ媒体のみならず、デジタル、ネットワークによる情報メディアを県民が積極的に活用できる環境を整備します。

○デジタル岡山大百科の充実

現状の成果と課題
平成16年9月の新館オープンに併せ、「図書館横断検索システム」「郷土情報ネットワーク」「レファレンスデータベース」の3機能を持つ、電子図書館システム「デジタル岡山大百科」をスタートさせ、県民参加と他の図書館の協力の下に充実に努めました。

県民参加型を大きな特徴として、郷土情報募集を展開し、コンテンツも順調に増加しています。今後は関係機関との連携を強化する中で、量的拡大に加え、質的拡充を図るとともに、各種講座を開催して、コンテンツの作成・利用両面の充実を図る必要があります。また、コンテンツの内容が岡山市内の情報に偏る傾向にあり、いかに県内全域からコンテンツを収集するかが課題です。

レファレンスデータベースの登録は順調に推移していますが、まだ十分な事例件数に達しているとは言えず、引き続き数量的な充実が必要です。

(注) 横断検索システムに関することは「(2) 県域の中核となる図書館」へ記載しています。

サービス目標と具体的取組	
①郷土情報ネットワークの充実	デジタル岡山大百科・郷土情報ネットワークが更に充実・活用されるよう、デジタルコンテンツの作成・蓄積と、活用方法の広報をします。
②レファレンスデータベースの充実	市町村立図書館等と連携し、レファレンスデータベースの充実を図ることにより、情報提供機能の充実に努めます。

○メディア利用環境の整備

現状の成果と課題
メディア工房は、本格的な撮影・録音を行うための「撮影室」とパソコンでデジタルビデオ編集などの作業ができる「編集加工室」の2室があり、デジタルコンテンツの制作の場として活用される一方で、有料施設として多様かつ幅広いニーズに応えています。郷土情報ネットワークに作品登録することを目的とした「メディア工房講座」は好評であり、今後の継続が期待されます。また、施設利用率はほぼ目標値に近い水準となっていますが、広報や各種講座の開催を通じて、今後もメディア工房の存在と機能の周知が課題です。 インターネットやデータベースが活用できる「アクセスコーナー」は安定した利用状況となっていますが、パソコン操作が不慣れな利用者に対するボランティアによる操作支援講座を更に拡充し、データベース等がより多くの利用者に活用されるよう努める必要があります。 CD、DVD等の視聴覚資料の貸出しは順調に推移しています。今後とも資料の充実を図るとともに、新着資料の紹介等により利用の拡大に努めることが求められます。

サービス目標と具体的取組	
③メディア工房の活用	高度な情報編集・発信機能を最大限発揮できるよう、ホームページ作成、ビデオ編集等の講座、イベント等を計画的に行います。
④アクセスコーナーの活用	情報ボランティアによる情報検索支援サービス等、利用者がデータベースを含め、有効にアクセスコーナーを活用できるような方策を検討します。

(5) 資料保存センターとしての図書館

将来にわたって県民の財産となる図書館資料を収集、整理し、保存して後世へ継承するとともに、広域的に有効な活用を図ります。岡山県に関する資料については、網羅的に収集し、保存します。また、県内市町村立図書館等からの移管資料を受け入れます。

○資料の収集

現状の成果と課題	
全国トップクラスの資料購入費により、目標の「新刊図書の70%収集」は概ね達成できました。また、20年度末に初めて館内用図書の蔵書冊数が全国平均を超えました。一方、本県の財政状況等により、平成21年度は新刊図書の購入が、約65%にとどまったように、当面の資料整備は困難な状況が予測されますが、利用を支える最大要因と考えられる「新刊図書の70%収集」を目標として引き続き掲げ、更に的確な選書を行い、蔵書の充実に努めることが求められます。雑誌、新聞についても、利用状況、有用性を精査した収集を行う必要があります。郷土資料、交通文化資料は順調な収集状況ですが、引き続き拡充に努める必要があります。特に、郷土資料は、毎年5千点を超える収集で一定の成果を上げていますが、岡山県関係資料の最後の拠り所としてはまだ不十分です。数量的充実と併せ、未所蔵資料の遡及収集に全力で取り組む必要があります。 市町村立図書館や学校図書館等を支援するため、新刊児童図書の全点収集、高齢者サービスとしての大活字図書の全点収集は、継続して実施することが必要です。 また、電子書籍等の新しい媒体の資料の導入についても検討する必要があります。	

サービス目標と具体的取組	
①新刊図書の収集	県民及び県内図書館からの高度化、多様化する資料要求に応えられる収集を行います。「新刊図書の70%収集」を引き続き最大の目標とします。交通文化資料、ビジネス支援資料等の重点的に収集を行う分野については継続して充実に努めます。大活字図書、新刊児童図書の全点収集も継続します。
②郷土資料の収集	岡山県関係資料の最終の拠り所として、数量的充実と併せ、未所蔵資料の遡及収集に全力で取り組みます。購入や寄贈のほかに、資料の必要性に応じて、他館所蔵資料の複製やデジタル媒体の印刷製本によるなど、柔軟な方法で対応します。

○資料の保存

現状の成果と課題	
蔵書冊数は順調に増加しましたが、作業の合理化などにより、購入、寄贈の多様かつ多量の資料を受入れるための体制を充実し、資料保存センターとしての機能を果たすよう努める必要があります。市町村からの移管資料は一定量ありますが、市町村への周知徹底を行い拡大を図ることが課題です。 長期保存の観点から、郷土関係雑誌や新聞のマイクロフィルム化、デジタル化といった媒体変換を順次行ってきましたが、今後とも、原誌紙の保存と利用のために計画的に進めていく必要があります。	

サービス目標と具体的取組	
③県域の資料保存センター機能の充実	県域の資料保存センターとしての機能を果たすため、受入れた資料は原則として永年保存します。また、県内の市町村立図書館等の移管資料を受入れるとともに、寄贈資料の受入保存が円滑に実施できるよう受入体制を充実します。
④長期保存対策	郷土資料、貴重資料については、必要性に応じてマイクロフィルム化、デジタル化を行い、保存と利用を両立させるよう努めます。

第3章 重点プログラム

(1) 子ども読書プログラム

県全体の子どもの読書活動推進のセンターとしての機能を充実します。子どもの読書に関わる大人に対する活動・研究への支援、情報提供等を行うとともに、子どもへのサービスを充実します。また、子どもにとって一番身近な拠点である学校図書館への支援を拡大します。



○子ども読書活動推進センター機能の充実

現状の成果と課題

直接サービスは安定した利用状況ですが、県内の子ども読書活動推進センター※としての機能は十分果たしているとはいえない点があります。今後とも児童図書研究書の収集を継続して行い、通信誌を発行するなど児童図書研究室の利用拡大を図る必要があります。また、関係者や関係機関に対して読書・資料に関する情報支援を行ったり、読書グループの調査を行うなど、子ども読書活動の推進に努めることが求められます。ヨムヨム巡回展示※やミニ講座の開催は、県内子ども読書活動推進に大きな成果を上げるものであり、内容を拡充して実施することが求められます。

市町村立図書館や学校図書館職員、学校教職員、読書ボランティア等、子どもの読書に関わる大人を対象とした研修会を更に充実して実施し、研修の内容は、ホームページ等を通じて全県に情報提供し、共有の成果としていくことが課題です。

各種イベントを実施し、開催内容はホームページ等を通じて広く全県に情報提供することが求められます。ティーンズコーナーを中高生生に開放するとともに、中高生向けの通信誌を発行するなどして中高生の図書館利用の一層の促進を図ることも課題です。

※子ども読書活動推進センター：「第2次岡山県子ども読書活動推進計画～おかやまどどん読書プラン～」において、以下のような取組を行うこととされています。

- 調査・研究の支援（子ども読書に関する情報の収集・提供、新刊児童図書の全点購入、児童図書研究書の積極的収集）
- 来館者への直接サービス ○児童図書の収集・保存 ○外国語児童書の収集と提供 ○ティーンズコーナーの運営
- 司書、司書教諭、学校図書館担当事務職員等を対象とした研修の実施 ○ボランティアの養成 ○講演会や講座の実施
- 関係者への子どもの本の紹介 ○関係機関と連携した読書活動推進事業の支援 等

※ヨムヨム巡回展示：市町村立図書館等を会場に、新刊児童図書の一部を展示し、併せて児童図書に関するミニ講座を行っています。

サービス目標と具体的取組

①子どもの読書に関する調査・研究の支援

児童図書研究書の積極的な収集や、新刊児童図書の全点収集を継続し、利用者の子どもの読書に関する調査・研究を支援します。全点購入図書は、巡回展示を行うなど利用拡大を図るとともに、利用制限を緩和し、活用を図ります。また、関係者や関係機関に対してサービスの実態や取組等に関する様々な情報をホームページ等で提供します。

②子どもの読書に関わる研修・普及啓発活動

子どもの読書活動を推進する関係者のための研修の充実に努めます。研修の内容は、ホームページ等を通じて全県に情報提供し、共有の成果とするよう努めます。

読書の楽しさや必要性を理解してもらうための講座等を各機関と連携しながら実施します。また、読書ボランティア団体などの情報収集に努め、そのネットワーク化と、主体的な取組を支援します。

③子どもへのサービスの充実	読み聞かせ、ストーリーテリング※等の行事を行い、児童サービスを充実させます。保護者の読書相談に対応します。ティーンズコーナーの活用など、中学・高校とも連携しながら、中高生へのサービスを充実させます。 対面朗読室を活用した朗読サービスを行うなど、特別な支援を必要とする子どもの読書活動を支援します。外国人の子どもへのサービスにも留意して行います。
---------------	--

※ストーリーテリング：話し手がおはなしや物語を覚えて、本なしで聞き手に語って聴かせること。

○学校図書館への支援

現状の成果と課題	
県立図書館は子どもの読書活動推進センターとして、子どもの自由な読書活動と、読書指導の場である学校図書館への支援を充実していく必要があります。学校図書館への協力貸出しは、高等学校、特別支援学校等への搬送システムの開始により飛躍的に増加しましたが、学校間の利用のばらつきがあるため一層の啓発が必要です。平成23年度から運用する学校図書館支援用図書及び学校図書館支援システム※により、更なる支援の拡充が求められます。 搬送実施校以外の小中学校図書館等への協力貸出しは、市町村立図書館等への支援の強化を図りながら、市町村立図書館等を通じたサービスへと方向を変化させることが課題です。また、図書館未設置町村の学校図書館に関しては、望ましい支援の方策を検討する必要があります。	

※学校図書館支援システム：各校の蔵書データを取り込み、ネット検索できる機能なども備えています。

サービス目標と具体的取組	
④学校図書館支援用図書・支援システムの整備	学校図書館で行う調べ学習等に対応するための資料をセットで貸出す学校支援用図書の整備を行います。学校図書館からの依頼と資料提供をより効率的に行うための学校図書館支援システムを整備し、活用します。
⑤学校図書館との協力体制の構築	学校図書館と効果的に連携・協力できるよう、学校図書館協議会等との連携・協力を努めます。市町村立図書館等と学校図書館等とのネットワークの構築を支援します。

（２）図書館振興プログラム

すべての県民が、身近な生活圏内で図書館を利用できるよう、図書館のない町村に図書館設置を働きかけるとともに、図書館のある市町に対しても、全域サービスの充実を呼びかけます。また、サービスを支える図書館職員の力量の向上に努めます。



岡山県マスコット「ももち」

○全県域の図書館の振興

現状の成果と課題
平成21年度に県内公共図書館のサービスの状況に関する調査と分析を行いました。市町村間での格差が大きいこと、また、合併前に図書館のなかった地域への全域サービスには依然として課題があることが明らかになりました。「新おかやま夢づくりプラン」に掲げられている指標「県民が公立図書館から借りた本の数」の目標を達成し、更に伸ばしていくためには、全県域での図書館の設置の奨励と振興が不可欠であり、県及び県立図書館に求められる最も重要な役割の一つであるといえます。

市町村教育委員会等関係機関とも緊密に連携しながら、市町村立図書館等が自主的運営できるよう、巡回相談等の支援策を拡充させる必要があります。巡回相談は、相談内容に応じて、各部門との調整、職員の派遣等きめ細かい対応が行えるよう体制を整備することが課題です。

サービス目標と具体的取組	
①図書館運営に関する相談対応の強化	巡回相談事業を引き続き実施して、情報交換に努めます。また、日常的に図書館運営に関する様々な相談に対応できるよう、館内の調整機能を持つなど、相談体制を整え、利用を呼びかけます。
②市町村への図書館設置・充実の働きかけ	図書館のない町村への図書館設置の働きかけを行うとともに、求めに応じて助言を行います。既設置市町についても、地区館の設置等によりサービスの空白地帯の解消に努めるよう助言します。また、サービスを担う専門的職員である司書の確保と適正な配置についても働きかけます。図書館整備のための国の制度の紹介を行います。
③図書館に関する調査・研究	図書館サービスを効果的・効率的に行うために、住民のニーズや、各地域のサービスの状況、諸条件等の調査・分析・把握に努めます。また、電子書籍等、先進技術の動向に留意し、サービスの方法の研究開発に努めます。
④全県図書館振興策の検討	県図書館協会等関連団体と緊密に連携しながら、長期的な全県図書館振興策についての検討を行います。

○図書館職員の力量の向上

現状の成果と課題	
平成20年の図書館法改正で、司書等の研修についての条文が追加されたことが示すように、多様化、高度化する利用者ニーズに対応するためには、図書館職員が専門的能力・知識等を習得するための研修が重要です。 市町村立図書館等職員の研修については、県図書館協会と連携し、概ね良好な実施状況ですが、より実践的な内容で行うなど、対象者のニーズに応えていく必要があります。学校・大学図書館職員の研修については、県学校図書館協議会等、関係団体と連携を図りながら実施することが求められます。県立図書館職員の研修については、専門性の向上が図られるよう体制を整備することが課題です。	

サービス目標と具体的取組	
⑤図書館職員研修の充実	市町村立図書館等職員の研修については、対象者のニーズに応えられるテーマ設定、会場、日程等を考慮し、実効性の高いものを目指します。研修の内容は各館に情報提供し、より広く成果を得られるよう工夫します。 市町村立図書館等で実施する研修に県立図書館職員を講師として派遣します。また、県立図書館と市町村立図書館等との研修交流を検討します。
⑥図書館職員に役立つ情報提供	県図書館協会等、関係団体とも連携し、県内図書館職員向けホームページでの情報提供を行います。
⑦県立図書館職員(司書)の専門性の向上	現状の課・班組織に加えて、各職員が主題別の研修グループに属して研究・研修活動を行うこととし、各職員の資質や技術の向上を図ることによって館全体のサービスの向上を図ります。

第4章 第2次中期サービス目標の推進

(1) サービス指標の設定

この第2次中期サービス目標では、下記（第1次）の状況と評価を踏まえ、第2章・第3章に挙げる現状の成果と課題及びサービス目標と具体的取組に基づいた新たなサービス指標を23項目設定し、5年間の達成を目指します。



中期サービス目標（第1次）サービス指標の状況と評価

中期サービス目標（第1次）においては、21項目の指標と5年間の目標値を定め、各年度の達成状況の評価を「岡山県立図書館中期サービス目標達成度評価シート」として、毎年公開してきました。

指標名	平成17年度末 策定当初	平成22年度末 目標値(a)	平成21年度末 実績値(b)	進捗率 (b)/(a)
(1) 入館者数	102万人	毎年100万人	103万人	103.4%
(2) 登録者数	9万人	最終年度に18万人	16万2千人	90.0%
(3) 個人貸出冊数	107万冊	毎年100万冊	136万冊	◎135.6%
(4) 予約件数	7万2千冊	最終年度に10万冊	12万4千冊	◎124.0%
(5) 新刊購入冊数	4万5千冊	毎年4万5千冊	4万1千冊	93.4%
(6) 蔵書冊数	78万冊	最終年度に100万冊	106万冊	105.6%
(7) 交通資料	4,600冊	最終年度に6,400冊	6,300冊	99.2%
(8) 有料施設稼働率	69.3%	最終年度に80%	68.1%	85.1%
(9) データベース	6種類	最終年度に10種類	9種類	90.0%
(10) 協力貸出冊数	1万6千冊	最終年度に3万2千冊	4万6千冊	◎143.8%
(11) 横断検索システム接続館（公立）	76.7%	最終年度に100%	91.8%	91.8%
(12) 横断検索システム接続館（大学）	3館	最終年度に7館	7館	100.0%
(13) 搬送頻度	週1回	毎年週2回	週2回	100.0%
(14) 搬送施設数	82施設	最終年度に155施設	201施設	◎129.7%
(15) レファレンス件数	2万件	最終年度に4万3千冊	4万2千件	97.7%
(16) レファレンスデータベース件数	800件	最終年度に3千件	3,600件	◎119.5%
(17) 対面朗読室利用者数	125人	最終年度に250人	158人	▲63.2%
(18) AV資料数	8,000点	最終年度に1万5千点	1万4千点	93.5%
(19) 情報コンテンツ件数	4万1千件	最終年度に10万件	8万2千件	82.0%
(20) メディア工房利用率（編集加工室）	84.8%	最終年度に90%	92.9%	103.2%
(21) メディア工房利用率（撮影室）	46.5%	最終年度に60%	50.5%	84.2%

指標から見る成果と課題

「個人貸出冊数」「予約件数」「協力貸出冊数」「搬送施設数」「レファレンスデータベース件数」の5項目（◎）については、目標値を大幅に上回る実績値となっています。一方、「対面朗読室利用者数」の項目（▲）については、平成22年度に250人の目標値に対し、平成21年度は158人となっているものの、平成22年度は前期（4～9月）の時点で169人の利用となっています。このように、設定したサービス指標の多くは、計画最終年度である平成22年度末目標値の達成に向けて着実に推移しており、一定の成果があったものと考えられます。なお、指標の中に児童サービスに関する指標や職員研修等に関する指標がない等、新たな指標設定に当たっては、状況の変化に応じた再検討が必要です。

第2次中期サービス目標 サービス指標の設定

指標設定の考え方

- ・「子ども読書プログラム」「図書館振興プログラム」に関する指標を新たに設定しました。
- ・来館者に対する総合的なサービスの充実度の指標として「利用者満足度」を設定しました。
- ・ユニバーサルデザインの視点に立ったサービスの指標としては、「対面朗読室利用者数」に加えて、対象となる利用者の範囲が広い「郵送貸出冊数」を新たに設定しました。
- ・基本的な環境整備が進んだことにより、「データベース（種類）」を「データベース利用者数」に変更する等、利用状況を重視した指標設定としました。

指標名		現況値	27年度末目標値
県民に開かれた図書館	(1) ☆利用者満足度（来館者アンケートによる）	89.2%	毎年 90%
	(2) 入館者数	103 万人	毎年 100 万人
	(3) 個人貸出冊数	136 万冊	最終年度に 150 万冊
	(4) ☆郵送貸出冊数（障害のある人等を対象）	590 冊	最終年度に 880 冊
	(5) 対面朗読室利用者数	158 人	最終年度に 250 人
	(6) ☆インターネット予約冊数（非来館型サービス）	8 万 4 千冊	最終年度に 15 万冊
	(7) ☆広報件数（教育記者クラブへのお知らせ件数）	40 件	毎年 40 件
県域の中枢	(8) ○県内公共図書館への協力貸出冊数	2 万 8 千冊	最終年度に 5 万冊
	(9) ☆協力レファレンス件数	680 件	最終年度に 700 件
	(10) ☆横断検索による検索数	16 万件	最終年度に 20 万件
調査・研究	(11) レファレンス件数	4 万 2 千件	最終年度に 4 万 5 千件
	(12) ☆県立図書館職員がビジネス支援等講座で講師を務めた回数	8 回	最終年度に 15 回
メディア	(13) ○県立図書館によるレファレンスデータベース登録件数	170 件	毎年 180 件
	(14) ☆メディア工房主催講座（延べ日数）	30 日	毎年 40 日
	(15) ☆データベース延べ利用者数	650 人	最終年度に 1,000 人
資料保存	(16) 新刊図書の収集冊数	4 万 1 千冊	毎年 4 万 5 千冊
	(17) ☆郷土資料受入冊数	5,700 冊	毎年 5,800 冊
	(18) ○蔵書冊数（館内用図書）	94 万 3 千冊	最終年度に 128 万冊
子ども読書	(19) ☆児童図書研究書の購入冊数	80 冊（平均）	毎年 100 冊
	(20) ☆主催児童サービス関係研修会への参加人数	120 人（平均）	毎年 200 人
	(21) ○学校図書館への貸出冊数	1 万 5 千冊	最終年度に 3 万 5 千冊
図書館振興	(22) ☆巡回相談実施延べ図書館数	27 館	毎年 66 館
	(23) ☆主催図書館職員研修への参加人数	400 人（平均）	最終年度に 500 人

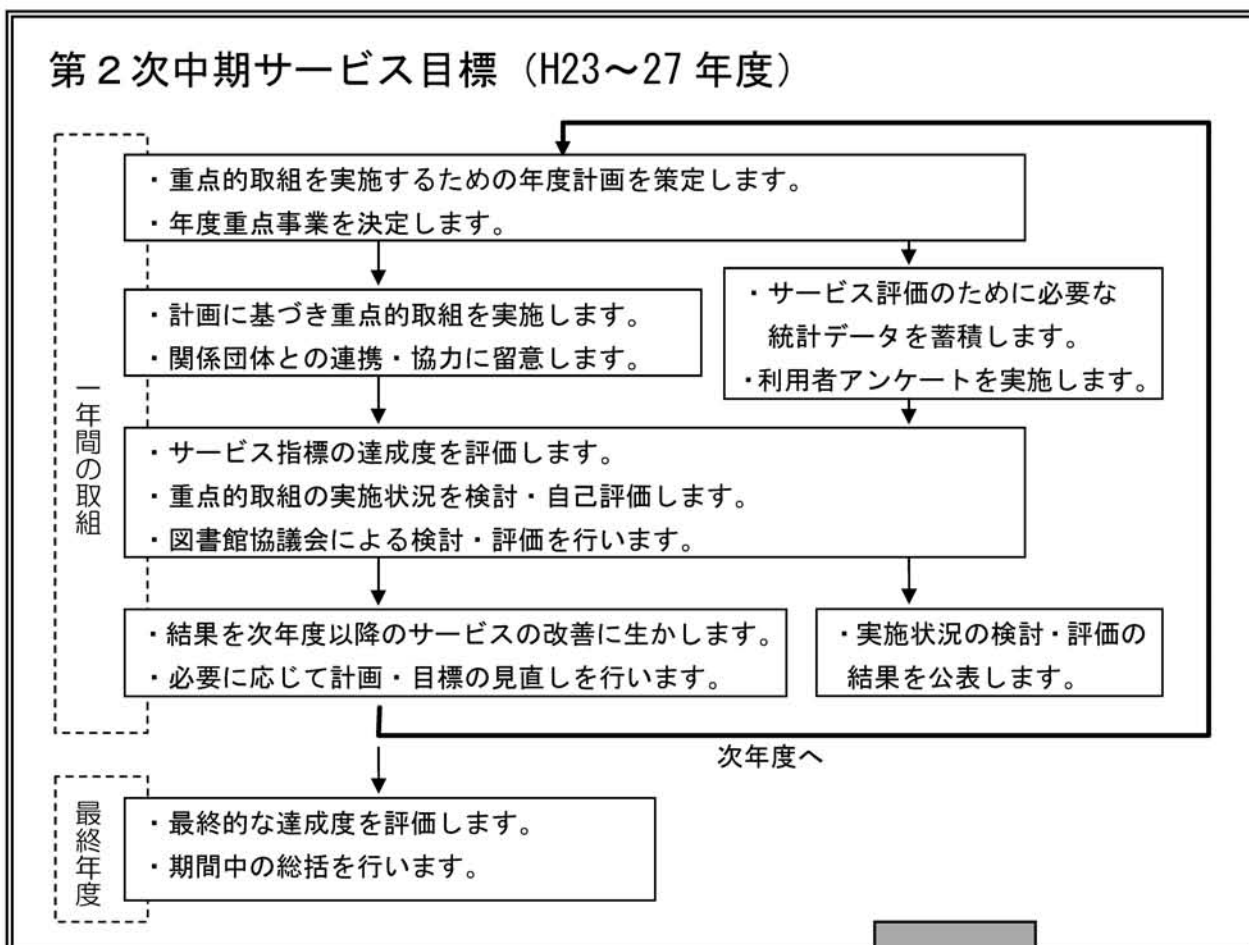
※指標名の☆は新規に設定、○は範囲の変更を行った指標を表し、その他は第1次からの継続の指標です。

※現況値（概数）は平成21年度末の数値です。ただし、（平均）とあるものは平成17～21年度の平均値です。

（２）成果の検証と改訂

サービス目標の推進に当たっては、自己評価と点検を適切に行い、利用者アンケートや図書館協議会での評価を踏まえ、新たに生じた課題にも対応しつつ、取組の成果を検証して進めていきます。

中期サービス目標（第１次）の
成果と課題



第３次中期サービス目標へ（H28 年度～）へ

第２次目標における成果と課題を踏まえて、第３次目標を策定します。

岡山県立図書館 第２次中期サービス目標

県民図書館さんさんサービスプラン

平成２３年２月

岡山県立図書館

岡山市北区丸の内２－６－３０

Ⅸ 関係団体

(平成23年3月31日現在)

団 体 名	事業概要	構成員等
岡山県図書館協会 会 長 西山 猛 (岡山県立図書館長)	図書館事業の発展と会員の資質向上を図ることで、県民の教養・文化の向上に寄与する目的で設立された団体 昭和26年10月設立	施設会員 85館 個人会員 343名
岡山県読書推進運動協議会 会 長 西山 猛 (岡山県立図書館長)	県内の読書関係団体・機関が連携し、岡山県の読書運動を推進するための協議会 昭和35年3月設立	副会長 2名 常任幹事 6名 監 事 2名 委 員 4名
岡山県公共図書館協議会 会 長 西山 猛 (岡山県立図書館長)	県内公共図書館等相互の連絡を密にし、図書館事業の進展を図る目的により設立 平成16年12月設立	副会長 2名 県内公共図書館等 65施設

岡山県図書館協会 平成22年度 事業報告

区 分	事 業 名	実施期日	内 容	会 場
会 議	理事会	H22. 5. 14	・ 役員の異動 ・ 図書館功労者表彰者の決定 ・ 平成 21 年度事業・収支決算報告並びに監査報告 ・ 平成 22 年度事業計画(案)・収支予算(案) ・ 大学図書館の理事・企画委員の選出 ・ 60周年記念事業	岡山県立図書館
	定期総会	H22. 6. 7	・ 図書館功労者表彰式 ・ 役員の異動 ・ 平成 21 年度事業・収支決算報告並びに監査報告 ・ 平成 22 年度事業計画(案)・収支予算(案) ・ 60周年記念事業	岡山県立図書館
委員会	企画委員会	H22. 8. 4 H23. 1. 12	研修会・講習会の企画、会報の編集 60周年記念事業の計画・立案・準備等	岡山県立図書館
調 査 研 究	研修助成金 交付	H23. 3. 1	岡山県大学図書館協議会、 岡山県青年図書館員研修会	
読書活動推進		H22. 11. 3	一日こども図書館フェスティバルの共催 参加者 400名	新庄村公民館他
研修・ 講習会	研修・講習会	H22. 6. 7	図書館業務講習会「新しい図書館員のために 困難な時代ー図書館の核について考える」 講師：菱川廣光氏（日本図書館協会評議員、岡山県図書館協会理事） 参加者 58名	岡山県立図書館
		H22. 8. 25	整理技術講習会「学校図書館の分類と配置について」（県学校図書館協議会・笠岡市立図書館と共催） 講師：赤木かん子氏 参加者 62名	笠岡市立図書館
		H22. 10. 20	図書館業務研修会「交換展示のカンドコロ」 講師：天野奈緒也氏（愛媛県立図書館 主任） 参加者 27名	岡山県立図書館
		H23. 2. 4	教養講座「フィンランドの図書館とこども達との教育環境」 講師：原田安啓氏（前奈良大学教授） 参加者 34名	西大寺緑花公園 体験学習施設 百花プラザ
		H23. 2. 23	製本講習会（県学校図書館協議会と共催） 講師：高尾齊氏・溝口智彦氏（キハラ株式会社） 参加者 18名	備前市市民センター
刊 行	会員名簿	H22. 7 頃	平成 22 年度版 希望者へ配布	
	会報	年 3 回	111 号(8 月), 112 号(11 月), 113 号(3 月)	
その他	図書の斡旋	H22. 6. 4	全国公共図書館研究集会報告書	

平成22年度 岡山県読書推進運動協議会事業報告

事業名	期 日	事業内容	備 考
委員会	22年4月28日	平成21年度事業・決算報告 平成22年度事業計画・収支予算案審議	会場: 岡山県立図書館
読書週間行事の調査	22年4月～6月	県下の公共図書館が行う「こどもの読書週間」行事の調査	週間: 4月23日～5月12日
	22年9月～11月	県下の公共図書館が行う「読書週間」行事の調査	週間: 10月27日～11月9日
読書推進に関する事業	22年11月3日	一日こども図書館フェスティバル 岡山県読書推進表彰式、一日こども読書大使任命式、おはなし会、読み聞かせ講座等	会場:新庄村 新庄村公民館・新庄村保育所・歴史民俗資料館ほか
優良読書グループの表彰状の伝達	22年11月3日	第43回優良読書グループ表彰状の伝達 ○布絵本の会(早島町立図書館)	会場: 新庄村
地域・家庭・子ども文庫等読書推進事業に対する援助協力	22年4月～23年3月	地域・家庭・子ども文庫などを推進する上で必要な諸活動に対する協力、援助及び助成金の交付 ○岡山県子ども文庫連絡会 ○岡山朗読技術友の会 ○岡山ストーリーテリング研究会	
こどもの本ブックフェアの後援	22年7月23日～7月25日	2010 こどもの本ブックフェア (主催 岡山トーハン会)	会場: コンベックス岡山
読書感想文コンクールの共催	22年12月9日	第56回青少年読書感想文岡山県コンクールの共催 岡山県読書推進運動協議会長賞の授与 (県学校図書館協議会・毎日新聞社共催)	会場: 岡山県立図書館
読書普及のPR	22年4月～5月	①2010こどもの読書週間ポスターの配布 『たんけんしたいな 本の森』	期間: 4月23日～5月12日
	22年7月～8月	②2010年雑誌月間ポスターの配布	期間: 7月21日～8月20日
	22年10月～11月	③読書週間関係資料の配布 報道機関などを通じて広報	期間: 10月27日～11月9日
	22年8月～9月	④リーフレットの配布 「敬老の日読書のすすめ」	9月15日前後
	23年1月～3月	「若い人に贈る読書のすすめ」	1月12日前後
	22年4月～23年3月	⑤学図協の優良児童図書のリスト収集	

平成22年度利用案内

開館時間

閲覧室

- ・火曜日～金曜日 午前9時～午後7時
- ・土曜日、日曜日及び祝日 午前10時～午後6時

多目的ホール、サークル活動室、メディア工房、デジタル情報シアター

- ・火曜日～金曜日 午前9時～午後9時
- ・土曜日、日曜日及び祝日 午前9時～午後6時

休館日

- ・月曜日、第3木曜日（館内整理日）
* これらの日が祝日に当たる場合は、その翌日
- ・年末年始（12月29日～1月3日）
- ・資料整理期間（年間14日間以内）

交通のご案内



路面電車 東山行き～「県庁通り」下車 徒歩5分
バス いずれのバスとも「県庁前」下車すぐ

岡電バス：岡電高屋、ふれあいセンター行き

宇野バス：四御神、長岡・駅前、瀬戸駅、八日市、片上行き

両備バス：西大寺、倉益南（東山経由）、操南台団地西

旭川荘行き

平成22年度

年 報

発行年月

平成23年8月

発行・編集

岡山県立図書館

〒700-0823 岡山市北区丸の内2-6-30

TEL 086-224-1286

FAX 086-224-1208

E-mail libnet@libnet.pref.okayama.jp

URL <http://www.libnet.pref.okayama.jp/>

(携帯) <http://www.libnet.pref.okayama.jp/mobile/>